



ラップ口座残高4兆円突破！
ダイワファンドラップの運用手法に迫る

2024年6月

大和証券

Daiwa Securities



1

当社ラップ口座残高4兆円突破！

2

ダイワファンドラップと国際分散投資

3

ダイワファンドラップが提供する運用プラン

4

ダイワファンドラップのメンテナンス機能

5

ご負担いただく費用について



1

当社ラップ口座残高4兆円突破！

2

ダイワファンドラップと国際分散投資

3

ダイワファンドラップが提供する運用プラン

4

ダイワファンドラップのメンテナンス機能

5

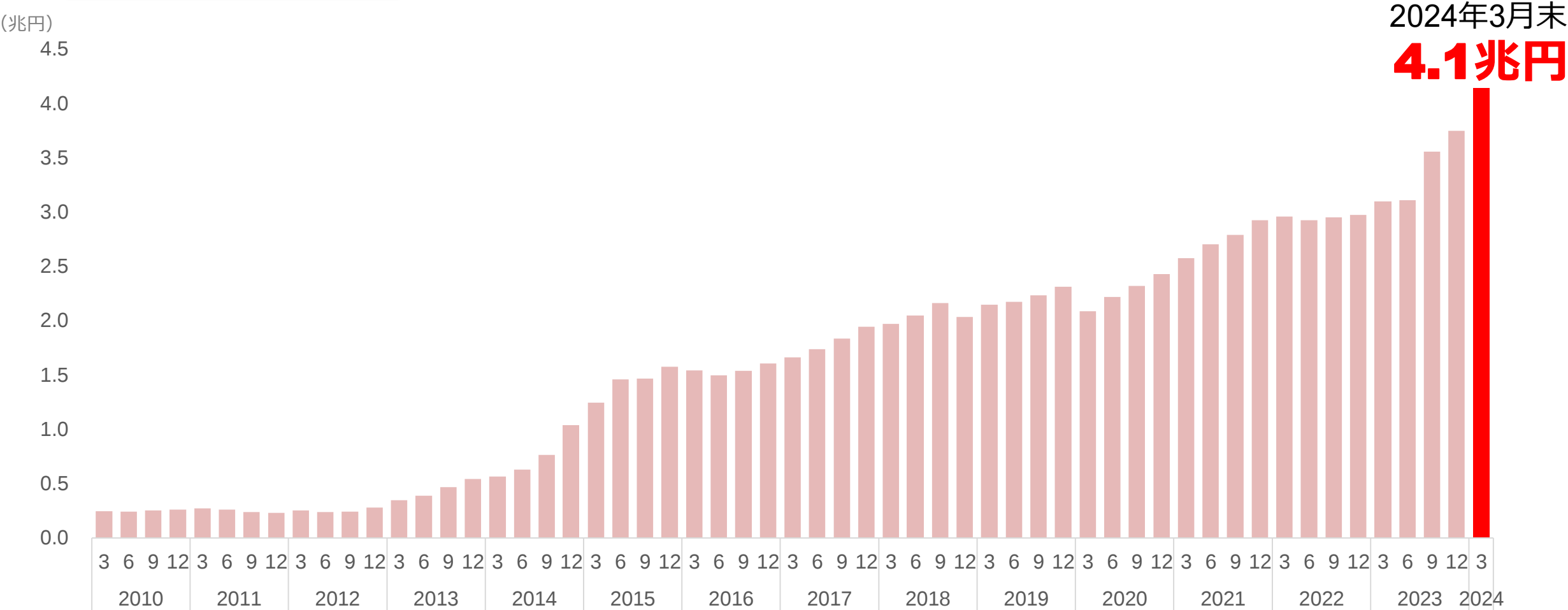
ご負担いただく費用について

1. 当社ラップ口座残高4兆円突破！
おかげさまで4兆円突破

 ファンドラップは、
やっぱり大和証券。



大和証券のラップ口座残高推移



※ 一般社団法人日本投資顧問業協会公表資料（2024年3月末時点）より、大和証券作成

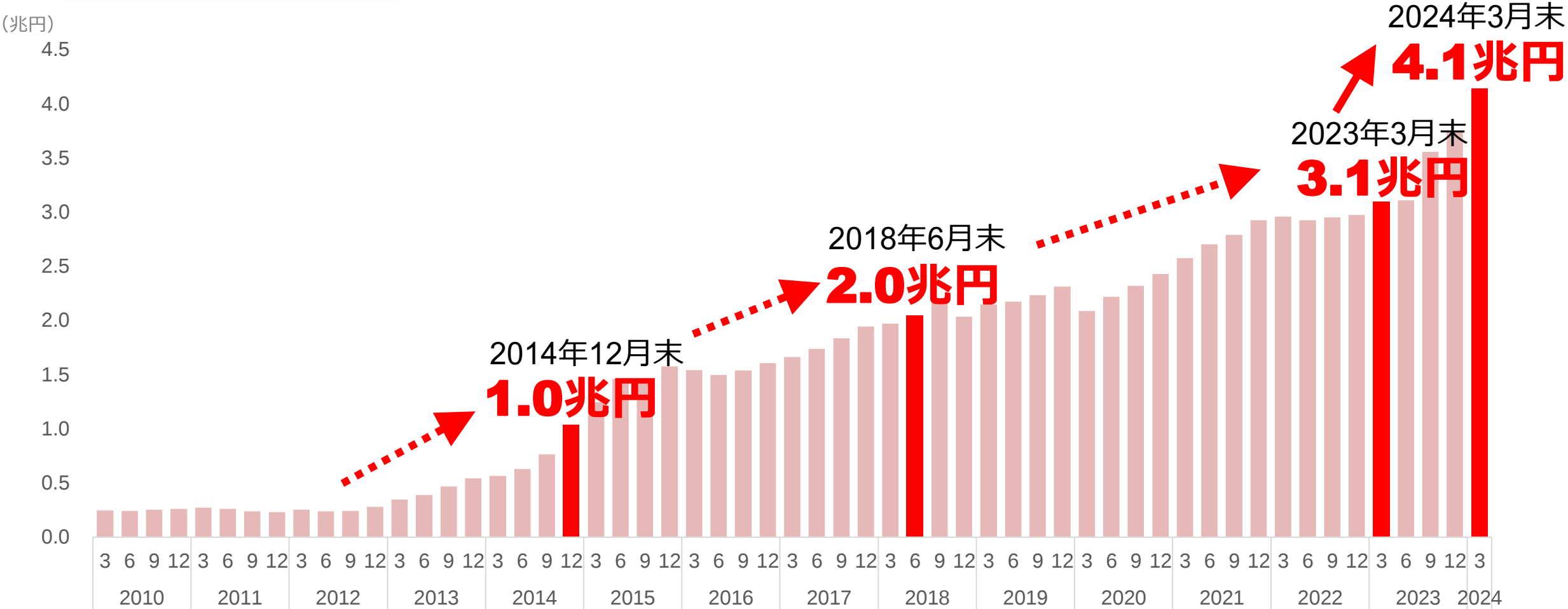
1. 当社ラップ口座残高4兆円突破！
おかげさまで4兆円突破

ファンドラップは、
やっぱり大和証券。

大和証券

Daiwa Securities

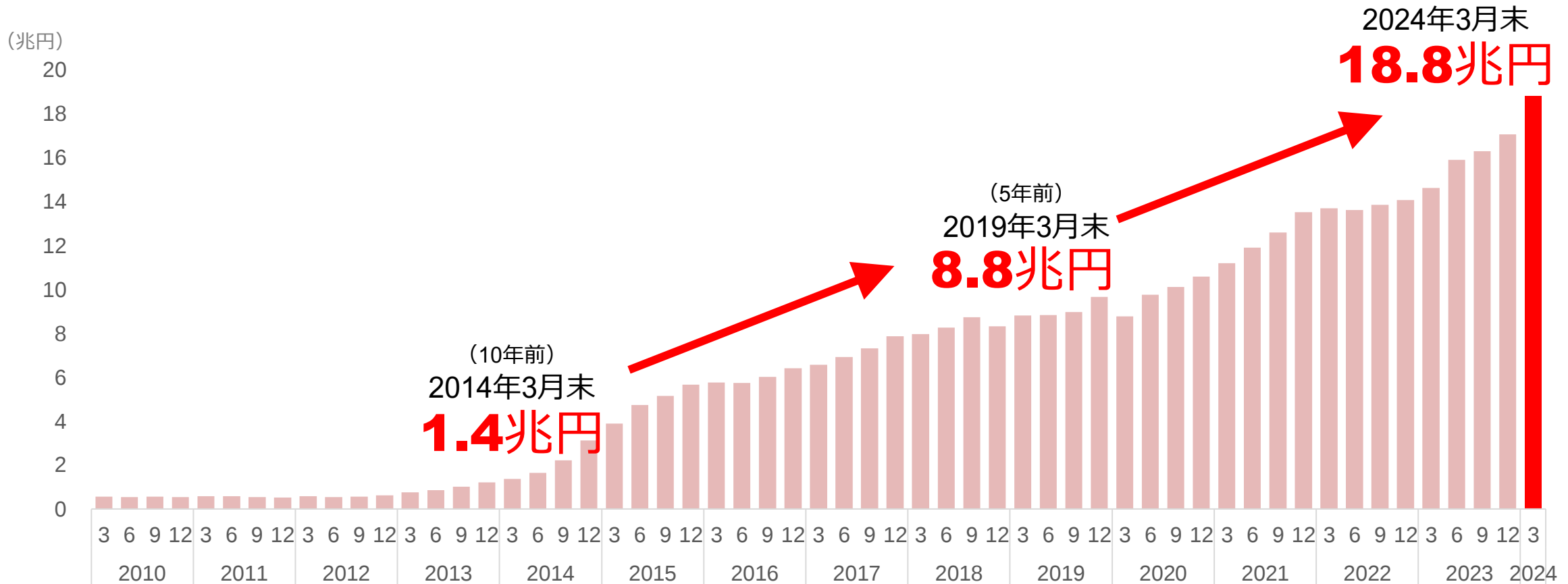
大和証券のラップ口座残高推移



1. 当社ラップ口座残高4兆円突破！ 注目を集めるラップ口座

 ファンドラップは、
やっぱり大和証券。

日本全体のラップ口座残高推移



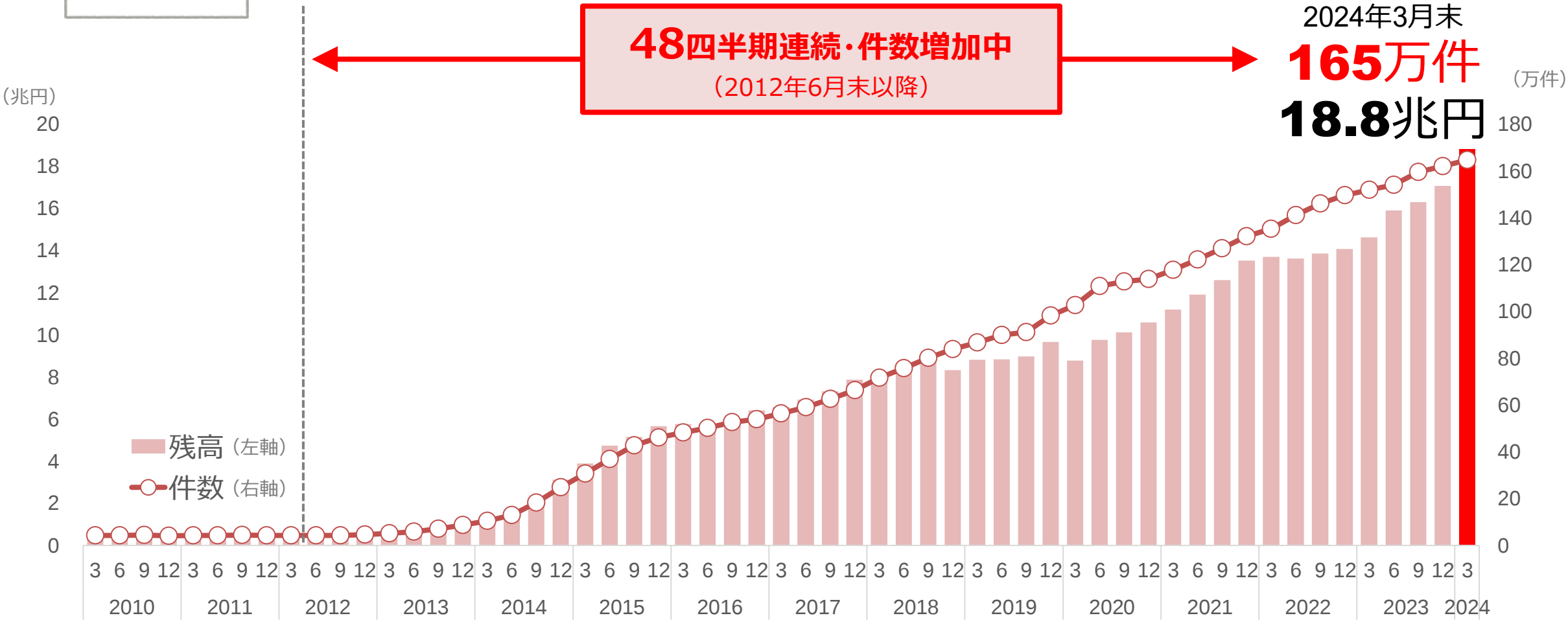
※ 一般社団法人日本投資顧問業協会公表資料（2024年3月末時点）より、大和証券作成

当資料中のいかなる内容も将来の成果を示唆・保証するものではありません。巻末の「ご留意事項」をご覧ください。

1. 当社ラップ口座残高4兆円突破！
注目を集めるラップ口座

ファンドラップは、
やっぱり大和証券。

日本全体のラップ口座残高推移

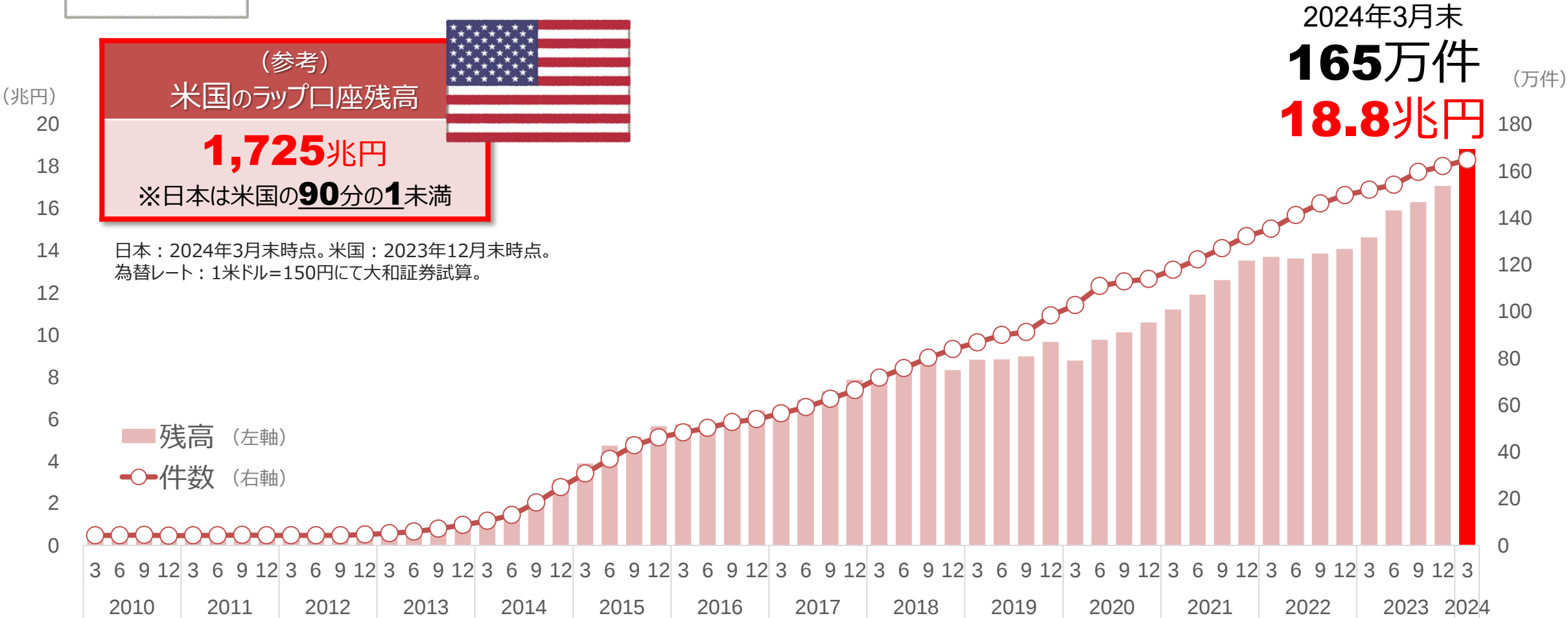


※ 一般社団法人日本投資顧問業協会公表資料（2024年3月末時点）より、大和証券作成

1. 当社ラップ口座残高4兆円突破！
注目を集めるラップ口座

ファンドラップは、
やっぱり大和証券。

日本全体のラップ口座残高推移



※ 一般社団法人日本投資顧問業協会公表資料（2024年3月末時点）より、大和証券作成

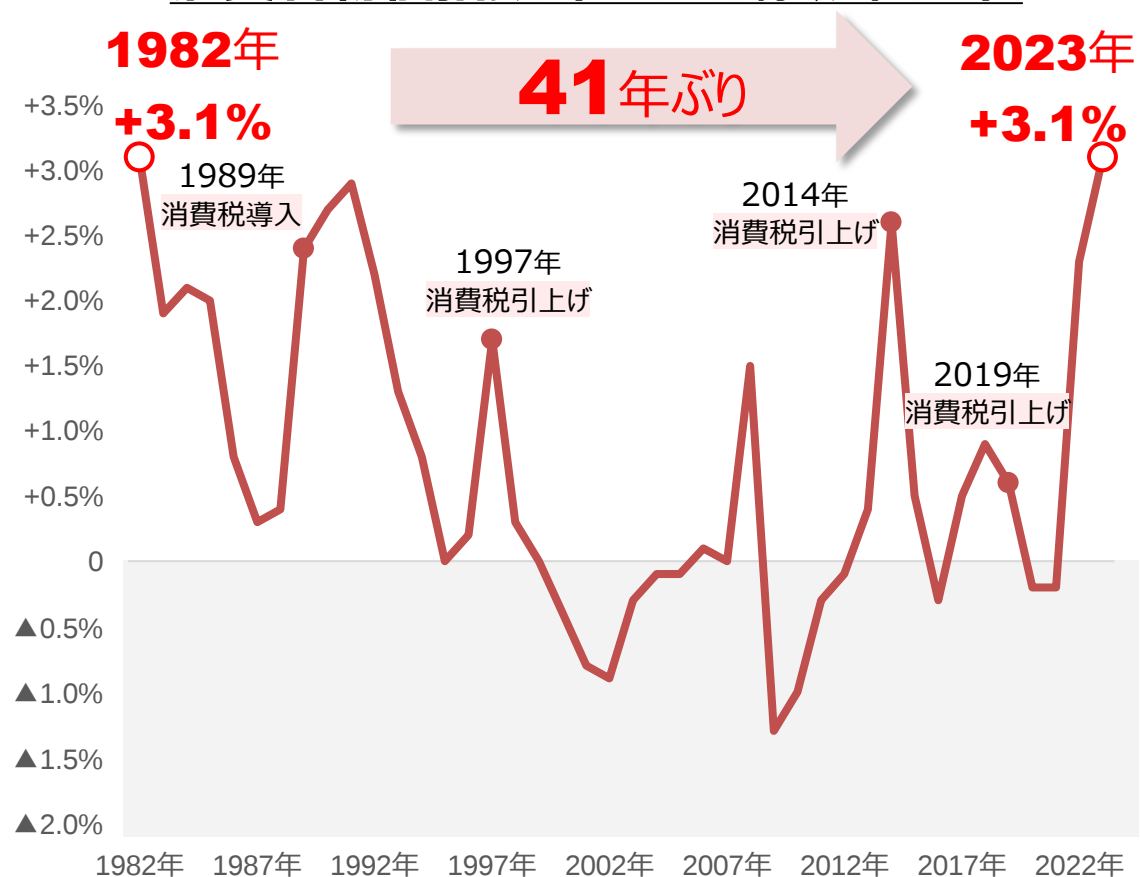
ファンドラップが注目される理由／インフレ×低金利時代



ファンドラップは、
やっぱり大和証券。

物価

消費者物価指数（生鮮食品除く、年平均）



(出所) 総務省統計局

利回り

10年国債利回りと定期預金金利の推移（月次）



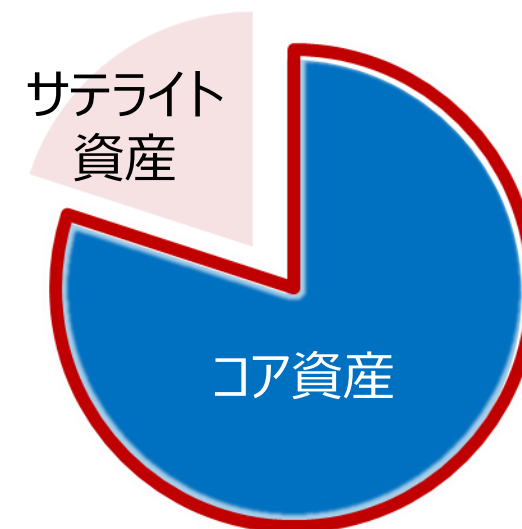
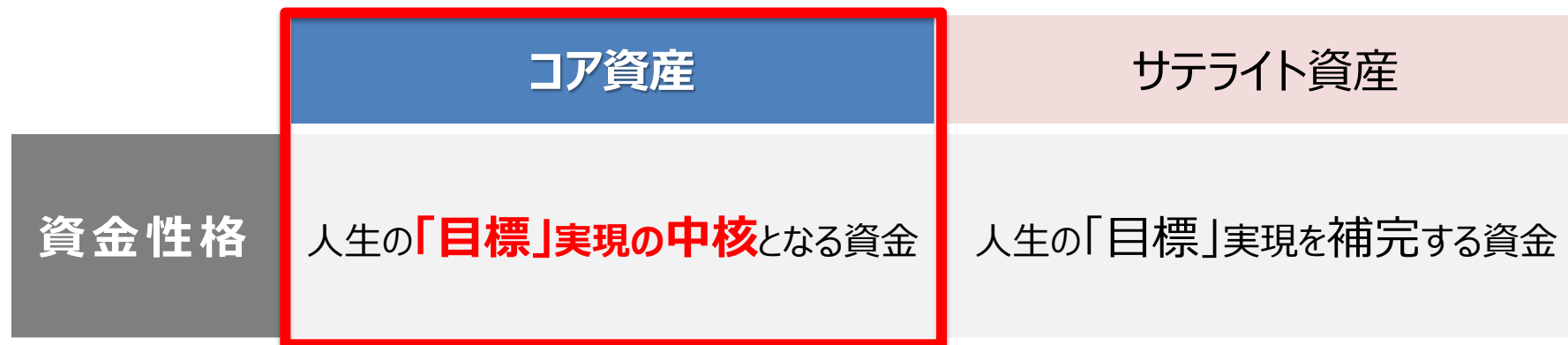
※定期預金金利：日本銀行HP 定期預金の預入期間別金利（新規受入分） 預入期間6ヶ月以上1年未満 / 預入金額3百万円以上1千万円未満。10年国債利回り：Bloomberg

コア資産について



ファンドラップは、
やっぱり大和証券。

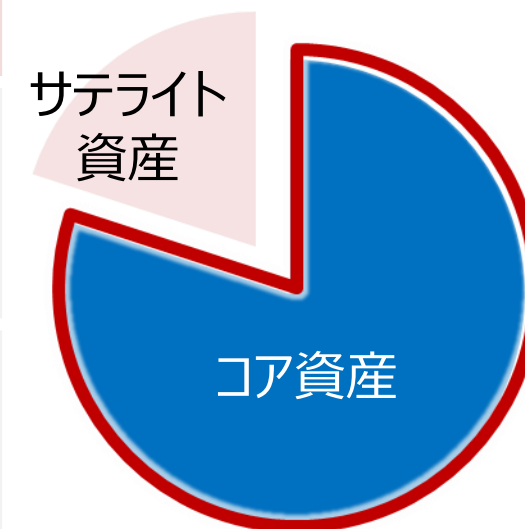
資金性格と運用手法



コア資産について

資金性格と運用手法

	コア資産	サテライト資産
資金性格	人生の「 目標 」実現の 中核 となる資金	人生の「 目標 」実現を補完する資金
運用手法	守り リスクコントロールしつつ管理していく運用	攻め

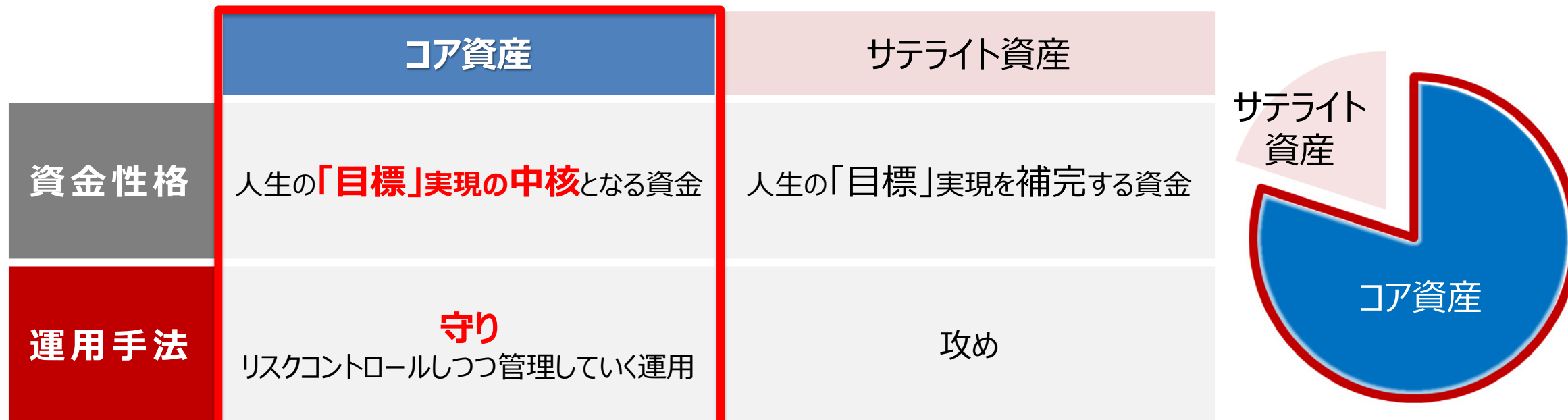


コア資産について



ファンドラップは、
やっぱり大和証券。

資金性格と運用手法



インフレ時代への突入を受けて、「**コア資産**」の運用として、
リスクをコントロールしながら運用していく**ファンドラップ**°が選ばれています。



1

当社ラップ口座残高4兆円突破！

2

ダイワファンドラップと国際分散投資

3

ダイワファンドラップが提供する運用プラン

4

ダイワファンドラップのメンテナンス機能

5

ご負担いただく費用について

ダイワファンドラップの概要

お客さまのご希望される方針・期間に沿った「国際分散投資」をご選択いただけます。



	ダイワファンドラップ	
		プレミアム特約
契約金額	300万円以上	3,000万円以上
リスク水準	「安定」から「積極」まで、 計5種類	「より安定」から「より積極」まで、 計7種類
運用スタイル	30スタイル	700スタイル超
フィー (手数料)	資産評価額（契約金額）およびリスク水準に応じた料率	
付帯サービス等	- 定期受取サービス - 寄附サービス	- 複数運用口の設定可能 - 定期受取サービス - 寄附サービス - 贈与サポートサービス - 相続時受取人指定サービス - 大和セゾンプラチナカード

「国際分散投資」のポイント



ファンドラップは、
やっぱり大和証券。

リターンの源泉

世界経済拡大の恩恵を享受

リスクを抑える

運用成果を着実に積み上げ

長期で投資

早く始めて、長く持つ

「国際分散投資」の効果検証 ①世界経済成長とファンドラップ°



ファンドラップは、
やっぱり大和証券。

リターンの源泉

世界経済拡大の恩恵を享受

「国際分散投資」の効果検証 ①世界経済成長とファンドラップ°

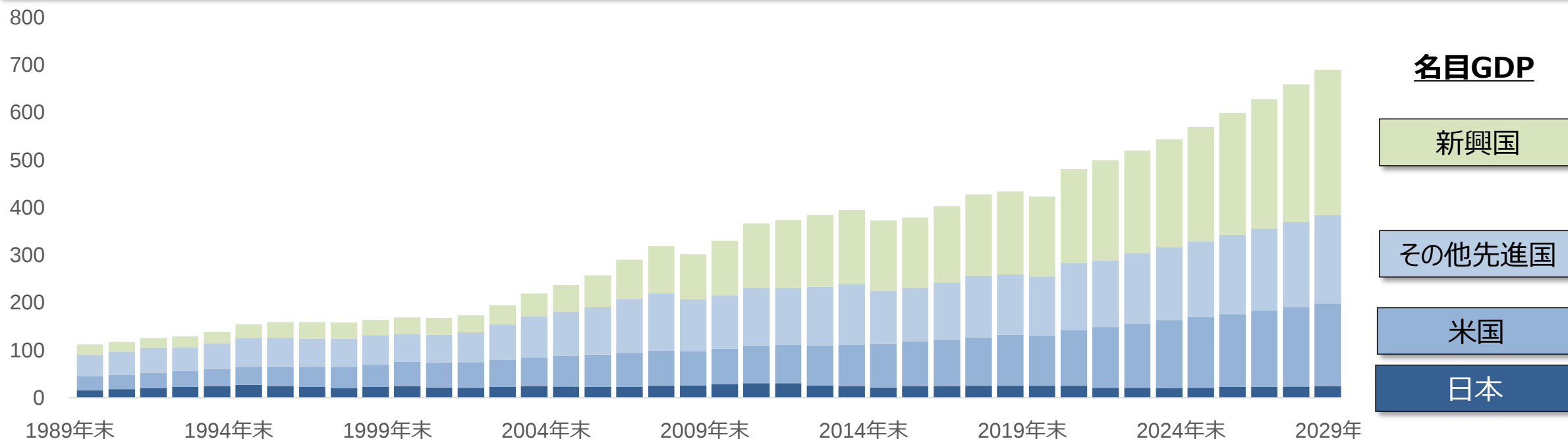


ファンドラップは、
やっぱり大和証券。

リターンの源泉

世界経済拡大の恩恵を享受

名目GDPの推移とダイワファンドラップバランス運用スタイル（10073）



※名目GDP、TOPIX（配当込み）、ダイワファンドラップバランス運用スタイル（10073）は1989年末を100として指数化表示。一定の配分比率を維持する運用（リバランス）を行なった場合。運用コスト等は考慮していません。当資料は、2007年10月までは、インデックスと当初の配分比率、2007年11以降は、各月末時点における基準配分比率とファンドラップ専用投資信託の基準価額から計算したモデルパフォーマンスであり、実際の運用成果とは異なります。また、配分比率は今後予告なく変更することがあります。2007年10月までは、ヘッジファンドと日本債券の比率合計を日本債券のパフォーマンスとして計算しています。J-REITは03年3月以前は日本株式として計算しています。※当資料において使用するインデックスは、次のとおりです。日本株式：TOPIX（配当込み）、日本債券：ダイワ・ボンド・インデックス、外国株式：MSCIオールカントリー（日本を除く）、外国債券：FTSE世界国債インデックス（除く日本）、外国REIT：S&P先進国REIT指数TR（日本を除く）、J-REIT：東証REIT指数TR、コモディティ：S&P GSコモディティ指数。データ出所：Bloomberg、Factset、IMF WEO 2024年4月より大和証券作成。IMFの予測も含まれます。

「国際分散投資」の効果検証 ①世界経済成長とファンドラップ

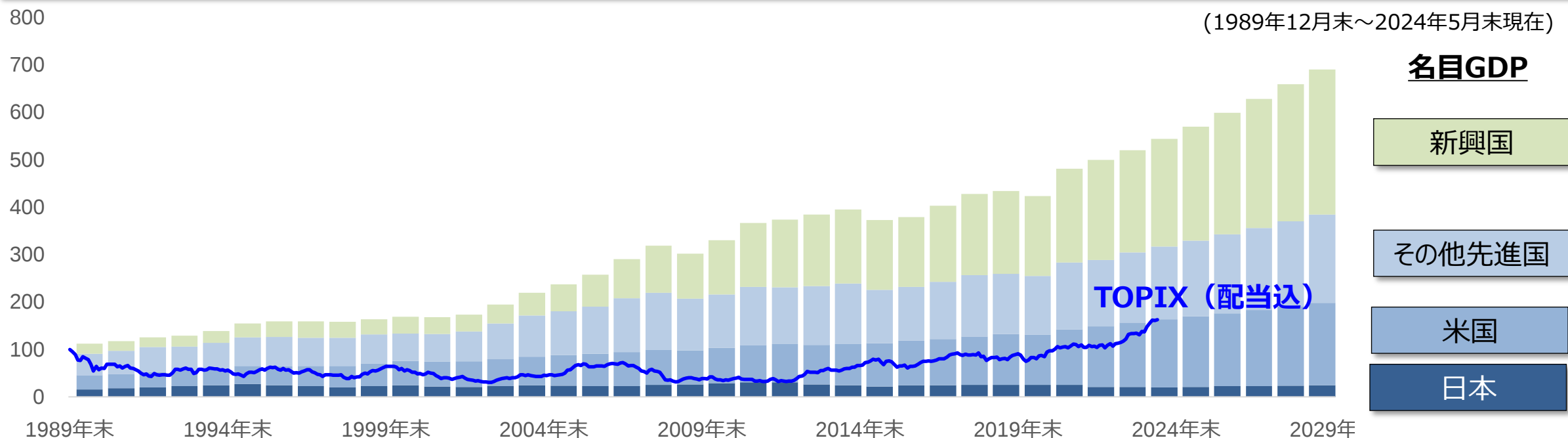


ファンドラップは、
やっぱり大和証券。

リターンの源泉

世界経済拡大の恩恵を享受

名目GDPの推移とダイワファンドラップバランス運用スタイル（10073）



※名目GDP、TOPIX（配当込み）、ダイワファンドラップバランス運用スタイル（10073）は1989年末を100として指数化表示。一定の配分比率を維持する運用（リバランス）を行なった場合。運用コスト等は考慮していません。当資料は、2007年10月までは、インデックスと当初の配分比率、2007年11以降は、各月末時点における基準配分比率とファンドラップ専用投資信託の基準価額から計算したモデルパフォーマンスであり、実際の運用成果とは異なります。また、配分比率は今後予告なく変更することがあります。2007年10月までは、ヘッジファンドと日本債券の比率合計を日本債券のパフォーマンスとして計算しています。J-REITは03年3月以前は日本株式として計算しています。※当資料において使用するインデックスは、次のとおりです。日本株式：TOPIX（配当込み）、日本債券：ダイワ・ボンド・インデックス、外国株式：MSCIオールカントリー（日本を除く）、外国債券：FTSE世界国債インデックス（除く日本）、外国REIT：S&P先進国REIT指数TR（日本を除く）、J-REIT：東証REIT指数TR、コモディティ：S&P GSコモディティ指数。データ出所：Bloomberg、Factset、IMF WEO 2024年4月より大和証券作成。IMFの予測も含まれます。

「国際分散投資」の効果検証 ①世界経済成長とファンドラップ°

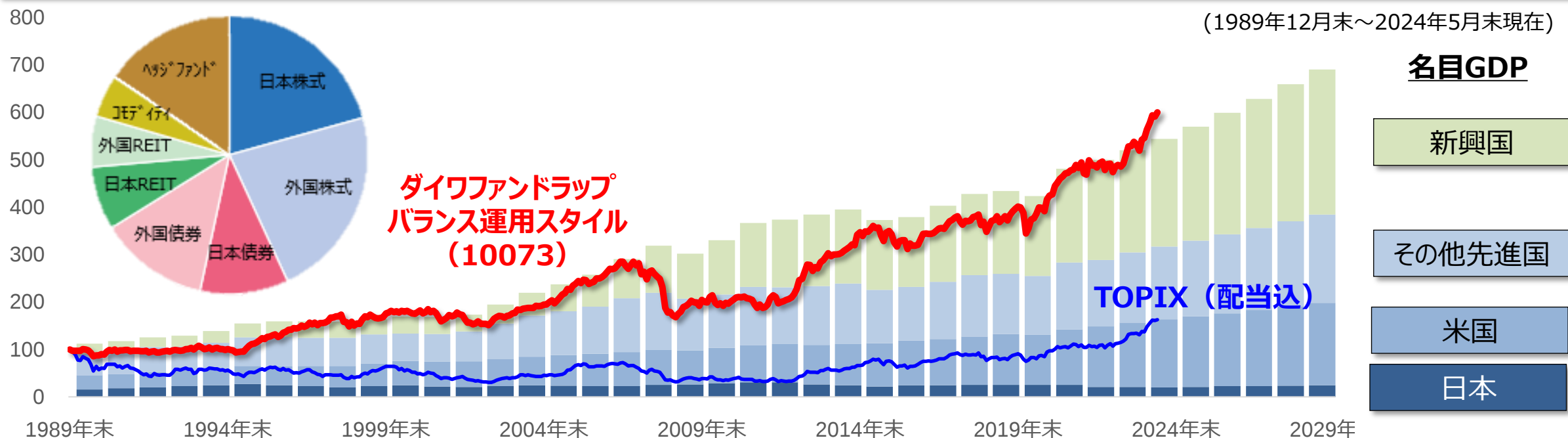


ファンドラップは、
やっぱり大和証券。

リターンの源泉

世界経済拡大の恩恵を享受

名目GDPの推移とダイワファンドラップバランス運用スタイル（10073）



※名目GDP、TOPIX（配当込み）、ダイワファンドラップバランス運用スタイル（10073）は1989年末を100として指数化表示。一定の配分比率を維持する運用（リバランス）を行なった場合。運用コスト等は考慮していません。当資料は、2007年10月までは、インデックスと当初の配分比率、2007年11以降は、各月末時点における基準配分比率とファンドラップ専用投資信託の基準価額から計算したモデルパフォーマンスであり、実際の運用成果とは異なります。また、配分比率は今後予告なく変更することがあります。2007年10月までは、ヘッジファンドと日本債券の比率合計を日本債券のパフォーマンスとして計算しています。J-REITは03年3月以前は日本株式として計算しています。※当資料において使用するインデックスは、次のとおりです。日本株式：TOPIX（配当込み）、日本債券：ダイワ・ボンド・インデックス、外国株式：MSCIオールカントリー（日本を除く）、外国債券：FTSE世界国債インデックス（除く日本）、外国REIT：S&P先進国REIT指数TR（日本を除く）、J-REIT：東証REIT指数TR、コモディティ：S&P GSコモディティ指数。データ出所：Bloomberg、Factset、IMF WEO 2024年4月より大和証券作成。IMFの予測も含まれます。

「国際分散投資」の効果検証 ②各年の騰落率



ファンドラップは、
やっぱり大和証券。

リスクを抑える

運用成果を着実に積み上げ

「国際分散投資」の効果検証 ②各年の騰落率

ファンドラップは、
やっぱり大和証券。

リスクを抑える

運用成果を着実に積み上げ

2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	累積リターン
日本REIT 41%	外国株式 55%	外国REIT 42%	日本株式 12%	コモディティ 10%	日本株式 22%	日本REIT 11%	外国株式 28%	外国株式 11%	コモディティ 57%	コモディティ 36%	外国株式 34%	外国株式 6.78 倍
外国REIT 39%	日本株式 54%	日本REIT 30%	外国REIT 2%	日本REIT 10%	外国株式 19%	日本債券 1%	日本REIT 26%	日本株式 7%	外国REIT 51%	分散投資 0%	日本株式 28%	外国REIT 4.27 倍
外国株式 32%	日本REIT 41%	外国株式 21%	日本債券 1%	外国株式 5%	分散投資 7%	外国債券 -4%	外国REIT 23%	外国債券 6%	外国株式 38%	日本株式 -2%	外国REIT 21%	日本株式 4.25 倍
分散投資 24%	分散投資 31%	外国債券 16%	外国株式 -1%	分散投資 4%	外国REIT 6%	分散投資 -5%	日本株式 18%	日本債券 -1%	分散投資 26%	日本REIT -5%	分散投資 14%	日本REIT 3.46 倍
日本株式 21%	外国REIT 24%	分散投資 16%	分散投資 -3%	外国REIT 3%	外国債券 5%	外国REIT -8%	分散投資 16%	分散投資 -2%	日本REIT 20%	日本債券 -5%	外国債券 14%	分散投資 3.14 倍
外国債券 20%	外国債券 23%	日本株式 10%	外国債券 -5%	日本債券 3%	コモディティ 1%	外国株式 -10%	コモディティ 11%	コモディティ -12%	日本株式 13%	外国債券 -6%	コモディティ 2%	外国債券 2.00 倍
コモディティ 15%	コモディティ 16%	日本債券 4%	日本REIT -5%	日本株式 0%	日本債券 0%	コモディティ -12%	外国債券 6%	外国REIT -12%	外国債券 5%	外国株式 -6%	日本債券 1%	コモディティ 1.84 倍
日本債券 2%	日本債券 2%	コモディティ -11%	コモディティ -26%	外国債券 -3%	日本REIT -7%	日本株式 -16%	日本債券 2%	日本REIT -13%	日本債券 0%	外国REIT -14%	日本REIT 0%	日本債券 1.09 倍

分散投資

= 各資産に等金額投資をした国際分散投資

各資産インデックス

日本株式：TOPIX（配当込） 外国株式：MSCIコクサイ・インデックス（配当込） 日本債券：ダイワ・ボンド・インデックス（総合） 外国債券：FTSE世界国債インデックス（除く日本） J-REIT：東証REIT指数（配当込） 外国REIT：S&P先進国REIT指数（除く日本、配当込） コモディティ：ロジャーズ国際コモディティ指数（“RICI”）

※「Rogers International Commodity Index®」および「RICI®」は、James Beeland Rogers、Jim Rogers®又はBeeland Interests, Inc.のトレードマークおよびサービスマークであり、使用許諾を要します。

「国際分散投資」の効果検証 ②各年の騰落率

ファンドラップは、
やっぱり大和証券。

リスクを抑える

運用成果を着実に積み上げ

2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	累積リターン
日本REIT 41%	外国株式 55%	外国REIT 42%	日本株式 12%	コモディティ 10%	日本株式 22%	日本REIT 11%	外国株式 28%	外国株式 11%	コモディティ 57%	コモディティ 36%	外国株式 34%	外国株式 6.78 倍
外国REIT 39%	日本株式 54%	日本REIT 30%	外国REIT 2%	日本REIT 10%	外国株式 19%	日本債券 1%	日本REIT 26%	日本株式 7%	外国REIT 51%	分散投資 0%	日本株式 28%	外国REIT 4.27 倍
外国株式 32%	日本REIT 41%	外国株式 21%	日本債券 1%	外国株式 5%	分散投資 7%	外国債券 -4%	外国REIT 23%	外国債券 6%	外国株式 38%	日本株式 -2%	外国REIT 21%	日本株式 4.25 倍
分散投資 24%	分散投資 31%	外国債券 16%	外国株式 -1%	分散投資 4%	外国REIT 6%	分散投資 -5%	日本株式 18%	日本債券 -1%	分散投資 26%	日本REIT -5%	分散投資 14%	日本REIT 3.46 倍
日本株式 21%	外国REIT 24%	分散投資 16%	分散投資 -3%	外国REIT 3%	外国債券 5%	外国REIT -8%	分散投資 16%	分散投資 -2%	日本REIT 20%	日本債券 -5%	外国債券 14%	分散投資 3.14 倍
外国債券 20%	外国債券 23%	日本株式 10%	外国債券 -5%	日本債券 3%	コモディティ 1%	外国株式 -10%	コモディティ 11%	コモディティ -12%	日本株式 13%	外国債券 -6%	コモディティ 2%	外国債券 2.00 倍
コモディティ 15%	コモディティ 16%	日本債券 4%	日本REIT -5%	日本株式 0%	日本債券 0%	コモディティ -12%	外国債券 6%	外国REIT -12%	外国債券 5%	外国株式 -6%	日本債券 1%	コモディティ 1.84 倍
日本債券 2%	日本債券 2%	コモディティ -11%	コモディティ -26%	外国債券 -3%	日本REIT -7%	日本株式 -16%	日本債券 2%	日本REIT -13%	日本債券 0%	外国REIT -14%	日本REIT 0%	日本債券 1.09 倍

分散投資

= 各資産に等金額投資をした国際分散投資

各資産インデックス

日本株式：TOPIX（配当込）外国株式：MSCIコクサイ・インデックス（配当込）日本債券：ダイワ・ボンド・インデックス（総合）外国債券：FTSE世界国債インデックス（除く日本）J-REIT：東証REIT指数（配当込）外国REIT：S&P先進国REIT指数（除く日本、配当込）コモディティ：ロジャーズ国際コモディティ指数（“RICI”）

※「Rogers International Commodity Index®」および「RICI®」は、James Beeland Rogers、Jim Rogers®又はBeeland Interests, Inc.のトレードマークおよびサービスマークであり、使用許諾を要します。

「国際分散投資」の効果検証 ②各年の騰落率

ファンドラップは、
やっぱり大和証券。

リスクを抑える

運用成果を着実に積み上げ

2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	累積リターン
日本REIT 41%	外国株式 55%	外国REIT 42%	日本株式 12%	コモディティ 10%	日本株式 22%	日本REIT 11%	外国株式 28%	外国株式 11%	コモディティ 57%	コモディティ 36%	外国株式 34%	外国株式 6.78 倍
外国REIT 39%	日本株式 54%	日本REIT 30%	外国REIT 2%	日本REIT 10%	外国株式 19%	日本債券 9%	日本REIT 26%	日本株式 7%	外国REIT 51%	分散投資 0%	日本株式 28%	外国REIT 4.27 倍
外国株式 32%	日本REIT 41%	外国株式 21%	日本債券 1%	外国株式 5%	分散投資 7%	外国債券 -4%	外国REIT 23%	外国債券 6%	外国株式 38%	日本株式 -2%	外国REIT 21%	日本株式 4.25 倍
分散投資 24%	分散投資 31%	外国債券 16%	外国株式 -1%	分散投資 4%	外国REIT 6%	分散投資 -5%	日本株式 18%	日本債券 -1%	分散投資 26%	日本REIT -5%	分散投資 14%	日本REIT 3.46 倍
日本株式 21%	外国REIT 24%	分散投資 16%	分散投資 -3%	外国REIT 3%	外国債券 5%	外国REIT -8%	分散投資 16%	分散投資 -2%	日本REIT 20%	日本債券 -5%	外国債券 14%	分散投資 3.14 倍
外国債券 20%	外国債券 23%	日本株式 10%	外国債券 -5%	日本債券 3%	コモディティ 1%	外国株式 10%	コモディティ 11%	コモディティ -12%	日本株式 13%	外国債券 -6%	コモディティ 2%	外国債券 2.00 倍
コモディティ 15%	コモディティ 16%	日本債券 4%	日本REIT -5%	日本株式 0%	日本債券 0%	コモディティ -12%	外国債券 6%	外国REIT -12%	外国債券 5%	外国株式 -6%	日本債券 1%	コモディティ 1.84 倍
日本債券 2%	日本債券 2%	コモディティ -11%	コモディティ -26%	外国債券 -3%	日本REIT -7%	日本株式 -16%	日本債券 2%	日本REIT -13%	日本債券 0%	外国REIT -14%	日本REIT 0%	日本債券 1.09 倍

分散投資

= 各資産に等金額投資をした国際分散投資

各資産インデックス

日本株式：TOPIX（配当込） 外国株式：MSCIコクサイ・インデックス（配当込） 日本債券：ダイワ・ボンド・インデックス（総合） 外国債券：FTSE世界国債インデックス（除く日本） J-REIT：東証REIT指数（配当込） 外国REIT：S&P先進国REIT指数（除く日本、配当込） コモディティ：ロジャーズ国際コモディティ指数（“RICI”）

※「Rogers International Commodity Index®」および「RICI®」は、James Beeland Rogers、Jim Rogers®又はBeeland Interests, Inc.のトレードマークおよびサービスマークであり、使用許諾を要します。

「国際分散投資」の効果検証 ②各年の騰落率

ファンドラップは、
やっぱり大和証券。

リスクを抑える

運用成果を着実に積み上げ

2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	累積リターン
日本REIT 41%	外国株式 55%	外国REIT 42%	日本株式 12%	コモディティ 10%	日本株式 22%	日本REIT 11%	外国株式 28%	外国株式 11%	コモディティ 57%	コモディティ 36%	外国株式 34%	外国株式 6.78 倍
外国REIT 39%	日本株式 54%	日本REIT 30%	外国REIT 2%	日本REIT 10%	外国株式 19%	日本債券 1%	日本REIT 26%	日本株式 7%	外国REIT 51%	分散投資 0%	日本株式 28%	外国REIT 4.27 倍
外国株式 32%	日本REIT 41%	外国株式 21%	日本債券 1%	外国株式 5%	分散投資 7%	外国債券 -4%	外国REIT 23%	外国債券 6%	外国株式 38%	日本株式 -2%	外国REIT 21%	日本株式 4.25 倍
分散投資 24%	分散投資 31%	外国債券 16%	外国株式 -1%	分散投資 4%	外国REIT 6%	分散投資 -5%	日本株式 18%	日本債券 -1%	分散投資 26%	日本REIT -5%	分散投資 14%	日本REIT 3.46 倍
日本株式 21%	外国REIT 24%	分散投資 16%	分散投資 -3%	外国REIT 3%	外国債券 5%	外国REIT -8%	分散投資 16%	分散投資 -2%	日本REIT 20%	日本債券 -5%	外国債券 14%	分散投資 3.14 倍
外国債券 20%	外国債券 23%	日本株式 10%	外国債券 -5%	日本債券 3%	コモディティ 1%	外国株式 -10%	コモディティ 11%	コモディティ -12%	日本株式 13%	外国債券 -6%	コモディティ 2%	外国債券 2.00 倍
コモディティ 15%	コモディティ 16%	日本債券 4%	日本REIT -5%	日本株式 0%	日本債券 0%	分散投資 -12%	日本債券 6%	外国REIT -12%	外国債券 5%	外国株式 -6%	日本債券 1%	コモディティ 1.84 倍
日本債券 2%	日本債券 2%	コモディティ -11%	コモディティ -26%	外国債券 -3%	日本REIT -7%	日本株式 -16%	日本債券 2%	日本REIT -13%	日本債券 0%	外国REIT -14%	日本REIT 0%	日本債券 1.09 倍

分散投資 = 各資産に等金額投資をした国際分散投資

各資産インデックス 日本株式：TOPIX（配当込）外国株式：MSCIコクサイ・インデックス（配当込）日本債券：ダイワ・ボンド・インデックス（総合）外国債券：FTSE世界国債インデックス（除く日本）J-REIT：東証REIT指数（配当込）外国REIT：S&P先進国REIT指数（除く日本、配当込）コモディティ：ロジャーズ国際コモディティ指数（“RICI”）
※「Rogers International Commodity Index®」および「RICI®」は、James Beeland Rogers、Jim Rogers®又はBeeland Interests, Inc.のトレードマークおよびサービスマークであり、使用許諾を要します。

「国際分散投資」の効果検証 ②各年の騰落率

ファンドラップは、
やっぱり大和証券。

リスクを抑える

運用成果を着実に積み上げ

着実な
運用成果

2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	累積リターン		
着実な 運用成果	外国REIT 22%	日本株式 12%	コモディティ 10%	日本株式 22%	日本REIT 11%	外国株式 28%	外国株式 11%	コモディティ 57%	コモディティ 36%	外国株式 34%	外国株式 6.78 倍		
	日本REIT 30%	外国REIT 2%	日本REIT 10%	外国株式 19%	日本債券 1%	日本REIT 26%	日本株式 7%	外国REIT 51%	分散投資 0%	日本株式 28%	外国REIT 4.27 倍		
	外国株式 32%	外国株式 21%	日本債券 1%	外国株式 5%	分散投資 7%	外国債券 -4%	外国REIT 23%	外国債券 6%	外国株式 38%	日本株式 -2%	外国REIT 21%	日本株式 4.25 倍	
	分散投資 24%	分散投資 31%	外国債券 16%	外国株式 -1%	分散投資 4%	外国REIT 6%	分散投資 -5%	日本株式 18%	日本債券 -1%	分散投資 26%	日本REIT -5%	分散投資 14%	日本REIT 3.46 倍
	日本株式 21%	外国REIT 24%	分散投資 16%	分散投資 -3%	外国REIT 3%	外国債券 5%	外国REIT -8%	分散投資 16%	分散投資 -2%	日本REIT 20%	日本債券 -5%	外国債券 14%	分散投資 3.14 倍
外国債券 20%	外国債券 23%	日本株式 10%	外国債券 -5%	日本債券 3%	コモディティ 1%	外国株式 -10%	コモディティ 11%	コモディティ -12%	日本株式 13%	外国債券 -6%	コモディティ 2%	外国債券 2.00 倍	
コモディティ 15%	コモディティ 16%	日本債券 4%	日本REIT -5%	日本株式 0%	日本債券 0%	コモディティ -12%	外国債券 6%	外国REIT -12%	外国債券 5%	外国株式 -6%	日本債券 1%	コモディティ 1.84 倍	
日本債券 2%	日本債券 2%	コモディティ -11%	コモディティ -26%	外国債券 -3%	日本REIT -7%	日本株式 -16%	日本債券 2%	日本REIT -13%	日本債券 0%	外国REIT -14%	日本REIT 0%	日本債券 1.09 倍	

分散投資

= 各資産に等金額投資をした国際分散投資

各資産インデックス

日本株式：TOPIX（配当込）外国株式：MSCIコクサイ・インデックス（配当込）日本債券：ダイワ・ボンド・インデックス（総合）外国債券：FTSE世界国債インデックス（除く日本）J-REIT：東証REIT指数（配当込）外国REIT：S&P先進国REIT指数（除く日本、配当込）コモディティ：ロジャーズ国際コモディティ指数（“RICI”）

※「Rogers International Commodity Index®」および「RICI®」は、James Beeland Rogers、Jim Rogers®又はBeeland Interests, Inc.のトレードマークおよびサービスマークであり、使用許諾を要します。

「国際分散投資」の効果検証 ③投資期間別の実績



ファンドラップは、
やっぱり大和証券。

長期で投資

早く始めて、長く持つ

「国際分散投資」の効果検証 ③投資期間別の実績

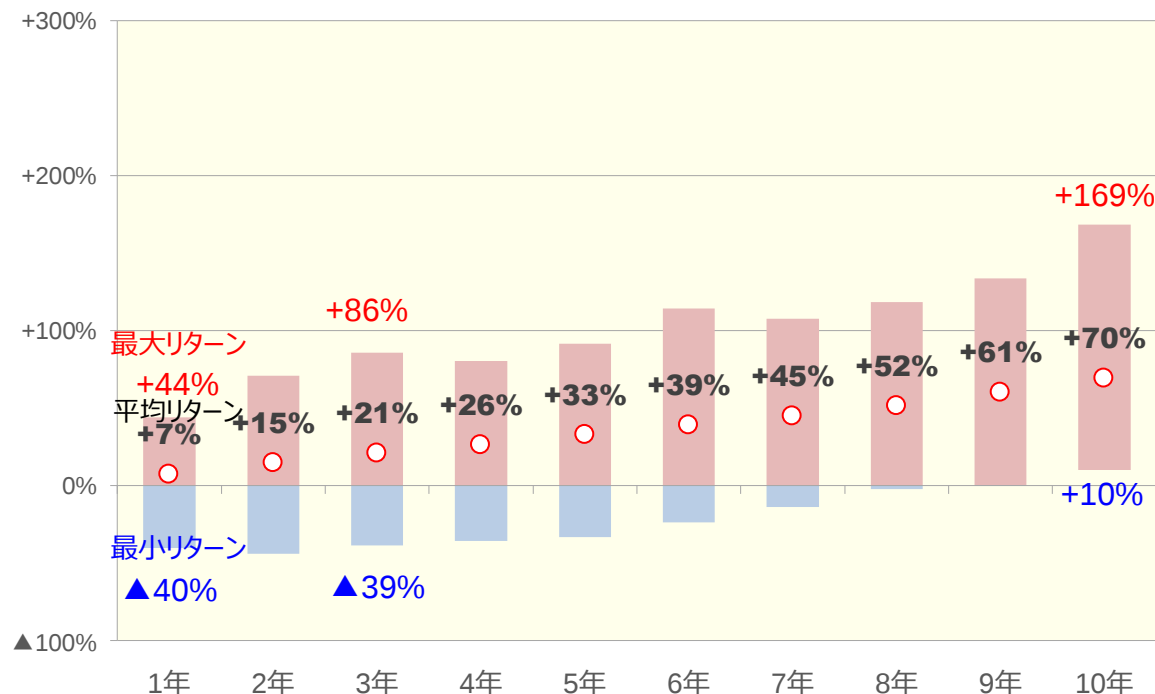


ファンドラップは、
やっぱり大和証券。

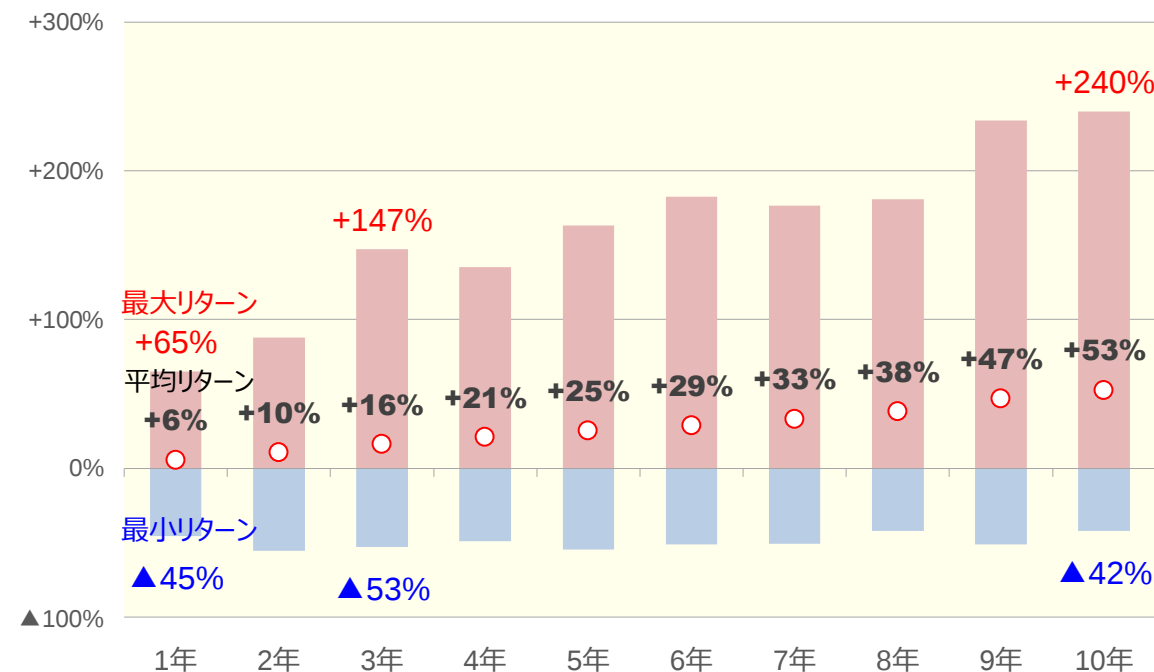
長期で投資

早く始めて、長く持つ

国際分散投資



日本株投資（単一資産での投資）



計算期間：1994年末～2023年末。上記シミュレーションは、データ期間中の毎月運用スタートし、該当の年数運用したときのリターンを示したものです。運用にかかるコスト等は考慮していません。国際分散投資は月次でリバランスを実施したと仮定しています。国際分散投資（6資産均等投資）・・・日本株式：TOPIX（配当込）、外国株式：MSCIコクサイ・インデックス（配当込）、日本債券：DBI総合、外国債券：FTSEWGBI（日本を除く）、外国REIT：S&P先進国REIT指数 TR、コモディティ：S&P GSコモディティ指数（配当込）。日本株投資・・・TOPIX（配当込）データ出所：Bloomberg

「国際分散投資」の効果検証 ③投資期間別の実績

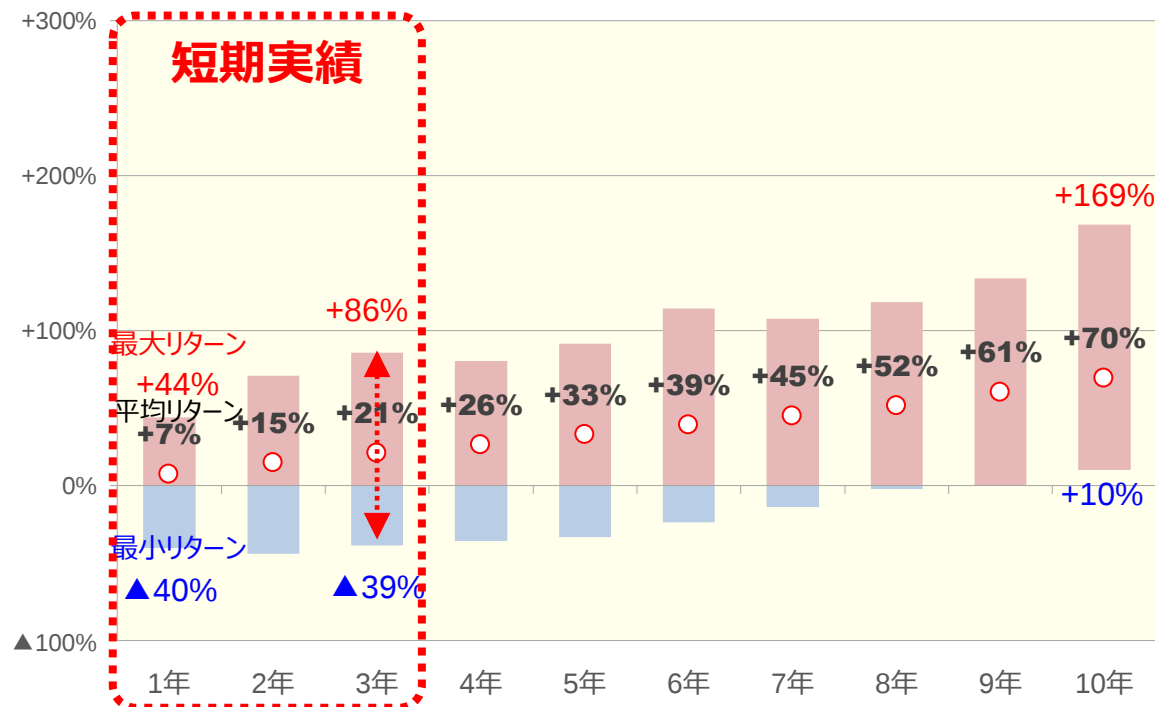


ファンドラップは、
やっぱり大和証券。

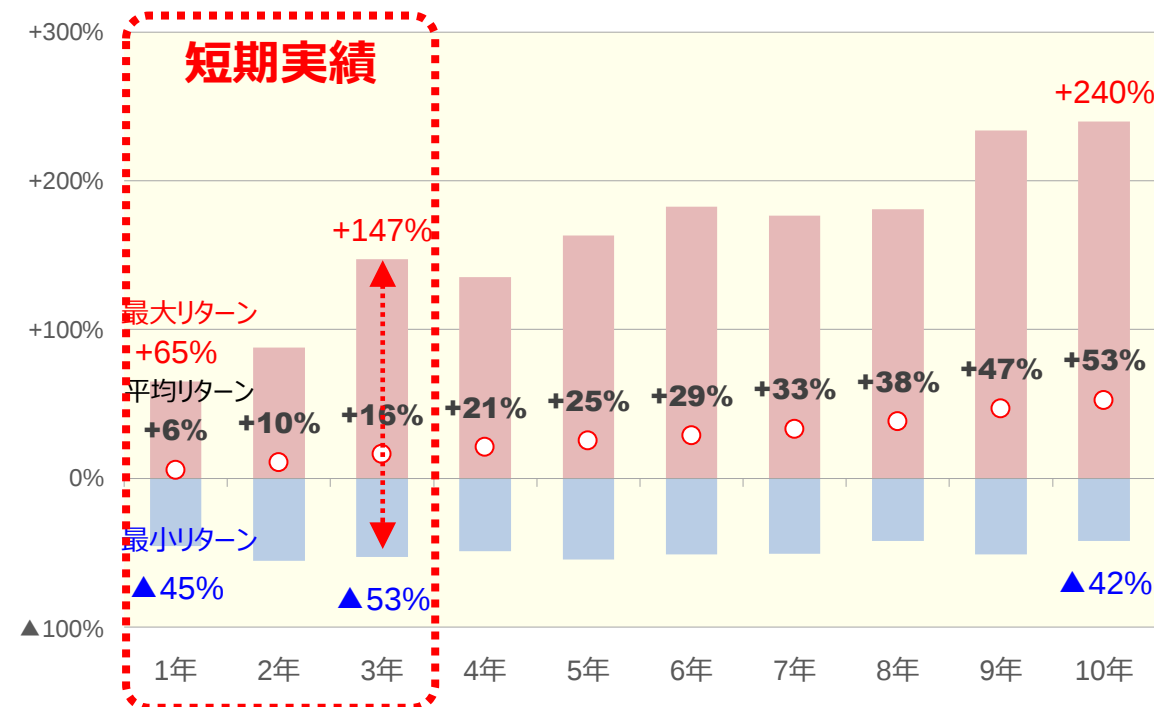
長期で投資

早く始めて、長く持つ

国際分散投資



日本株投資（単一資産での投資）



計算期間：1994年末～2023年末。上記シミュレーションは、データ期間中の毎月運用スタートし、該当の年数運用したときのリターンを示したものです。運用にかかるコスト等は考慮していません。国際分散投資は月次でリバランスを実施したと仮定しています。国際分散投資（6資産均等投資）・・・日本株式：TOPIX（配当込）、外国株式：MSCIコクサイ・インデックス（配当込）、日本債券：DBI総合、外国債券：FTSEWGBI（日本を除く）、外国REIT：S&P先進国REIT指数 TR、コモディティ：S&P GSコモディティ指数（配当込）。日本株投資・・・TOPIX（配当込）データ出所：Bloomberg

「国際分散投資」の効果検証 ③投資期間別の実績

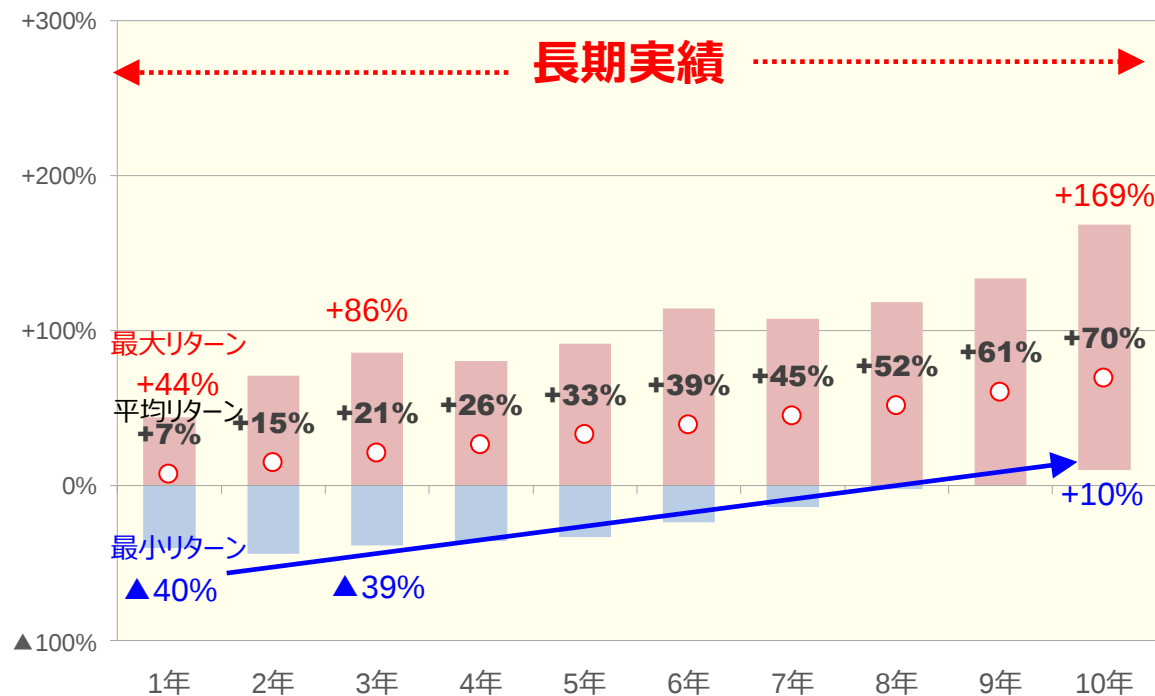


ファンドラップは、
やっぱり大和証券。

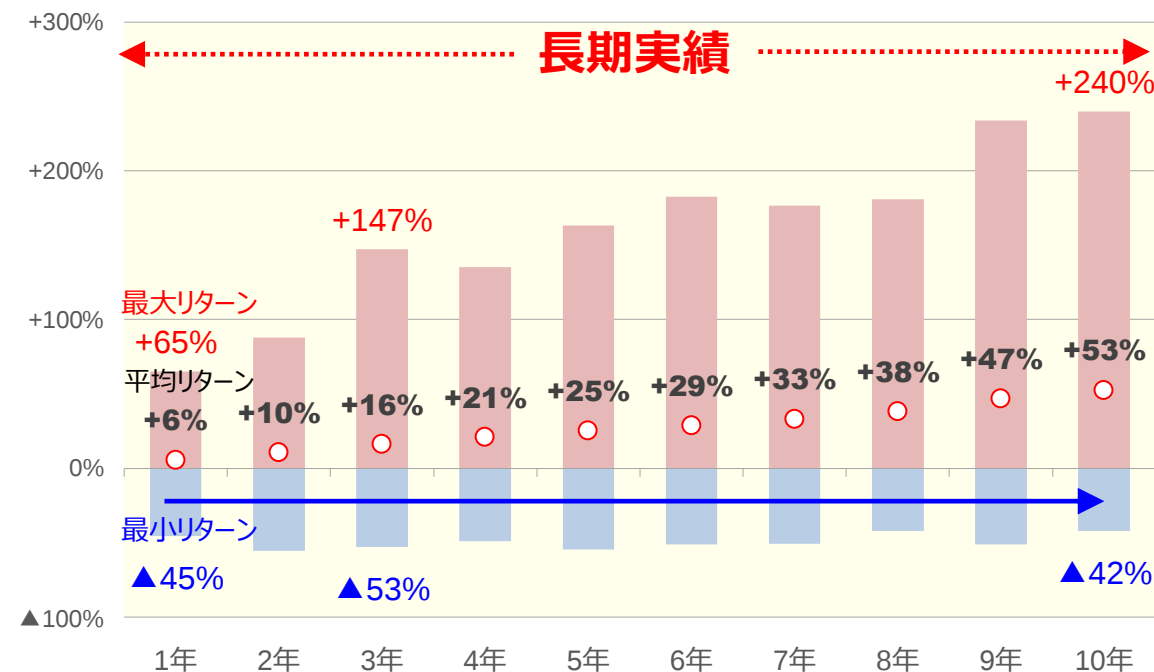
長期で投資

早く始めて、長く持つ

国際分散投資



日本株投資 (単一資産での投資)



計算期間：1994年末～2023年末。上記シミュレーションは、データ期間中の毎月運用スタートし、該当の年数運用したときのリターンを示したものです。運用にかかるコスト等は考慮していません。国際分散投資は月次でリバランスを実施したと仮定しています。国際分散投資（6資産均等投資）・・・日本株式：TOPIX（配当込）、外国株式：MSCIコクサイ・インデックス（配当込）、日本債券：DBI総合、外国債券：FTSEWGBI（日本を除く）、外国REIT：S&P先進国REIT指数 TR、コモディティ：S&P GSコモディティ指数（配当込）。日本株投資・・・TOPIX（配当込）データ出所：Bloomberg

ダイワファンドラップ／長期チャート

ファンドラップは、
やっぱり大和証券。

1989年末からのダイワファンドラップ（バランス運用スタイル）



バランス運用スタイル：一定の配分比率を維持する運用（リバランス）を行った場合。運用コスト等は考慮していません。・当運用スタイルのグラフは、同じ運用方針のスタイルである、バランス運用スタイル（0033）のパフォーマンスを代用し作成しています。なお、バランス運用スタイル（0033）は現在新規契約でのお取り扱いはありません。また、2007年10月までは、インデックスと当初の配分、2007年11月以降は、各月末時点における基準配分比率とファンドラップ セレクト・シリーズの基準価額から計算したモデルパフォーマンスであり、実際の運用成果とは異なります。また、配分比率は今後、予告なしに変更することがあります。・ヘッジファンドを含む運用スタイルの場合、2007年10月までは、ヘッジファンドと日本債券の比率合計を日本債券のパフォーマンスとして計算しています。J-REITは03年3月以前は日本株式として計算しています。当資料において使用するインデックスは、次のとおりです。日本株式：TOPIX（配当込み）、日本債券：ダイワ・インド・インデックス、外国株式：MSCIオールカントリー（日本を除く）、外国債券：FTSE世界国債インデックス（除く日本）、外国REIT：S&P先進国REIT指数TR（日本を除く）、J-REIT：東証REIT指数TR、コモディティ：S&P GSCIコモディティ指数。データ出所：Bloomberg、Factset

ダイワファンドラップ／長期チャート



ファンドラップは、
やっぱり大和証券。

1989年末からのダイワファンドラップ（バランス運用スタイル）



バランス運用スタイル：一定の配分比率を維持する運用（リバランス）を行った場合。運用コスト等は考慮していません。・当運用スタイルのグラフは、同じ運用方針のスタイルである、バランス運用スタイル（0033）のパフォーマンスを代用し作成しています。なお、バランス運用スタイル（0033）は現在新規契約でのお取り扱いはありません。また、2007年10月までは、インデックスと当初の配分、2007年11月以降は、各月末時点における基準配分比率とファンドラップ セレクト・シリーズの基準価額から計算したモデルパフォーマンスであり、実際の運用成果とは異なります。また、配分比率は今後、予告なしに変更することがあります。・ヘッジファンドを含む運用スタイルの場合、2007年10月までは、ヘッジファンドと日本債券の比率合計を日本債券のパフォーマンスとして計算しています。J-REITは03年3月以前は日本株式として計算しています。当資料において使用するインデックスは、次のとおりです。日本株式：TOPIX（配当込み）、日本債券：ダイワ・インド・インデックス、外国株式：MSCIオールカントリー（日本を除く）、外国債券：FTSE世界国債インデックス（除く日本）、外国REIT：S&P先進国REIT指数TR（日本を除く）、J-REIT：東証REIT指数TR、コモディティ：S&P GSCIコモディティ指数。データ出所：Bloomberg、Factset

GPIF（年金積立金管理運用独立行政法人）の運用



ファンドラップは、
やっぱり大和証券。

GPIFは、法律上「長期的な観点からの安全かつ効率的な運用」を行なうことが要請されています。

GPIF（年金積立金管理運用独立行政法人）の運用



ファンドラップは、
やっぱり大和証券。

GPIFは、法律上「長期的な観点からの安全かつ効率的な運用」を行なうことが要請されています。

GPIFの 重要指針

- ✓ 特性の異なる複数の資産へ分散投資を行なう
- ✓ 長期的な観点から基本となる資産構成割合を決めて維持する

※年金積立金管理運用独立行政法人「2022年度業務概況書」より大和証券作成

GPIF（年金積立金管理運用独立行政法人）の運用

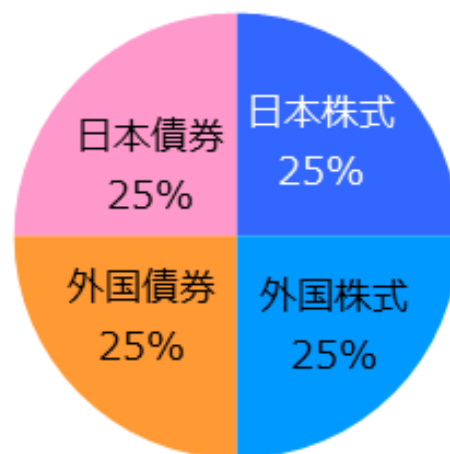
GPIFは、法律上「**長期的な観点からの安全かつ効率的な運用**」を行なうことが要請されています。

GPIFの 重要指針

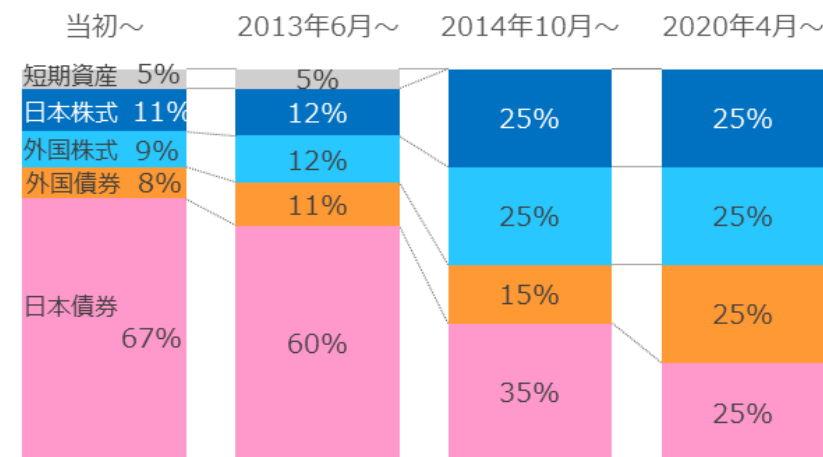
- ✓ 特性の異なる複数の資産へ**分散投資**を行なう
- ✓ **長期的な観点**から基本となる資産構成割合を決めて維持する

GPIFの 基本ポートフォリオ

現在の基本ポートフォリオ



（ご参考）基本ポートフォリオの変遷



※年金積立金管理運用独立行政法人「2022年度業務概況書」より大和証券作成

GPIF（年金積立金管理運用独立行政法人）の運用状況



ファンドラップは、
やっぱり大和証券。

年度ごとの修正総合収益率（%）

2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
-2.5	-8.5	+12.5	+4.6	+14.4	+4.8	-6.4	-10.0	+9.6	-0.6	+2.5	+11.3	+9.3	+12.9	-4.0	+5.9	+6.9	+1.5	-5.2	+25.2	+5.4	+1.5

※年金積立金管理運用独立行政法人「2022年度業務概況書」より大和証券作成

GPIF（年金積立金管理運用独立行政法人）の運用状況

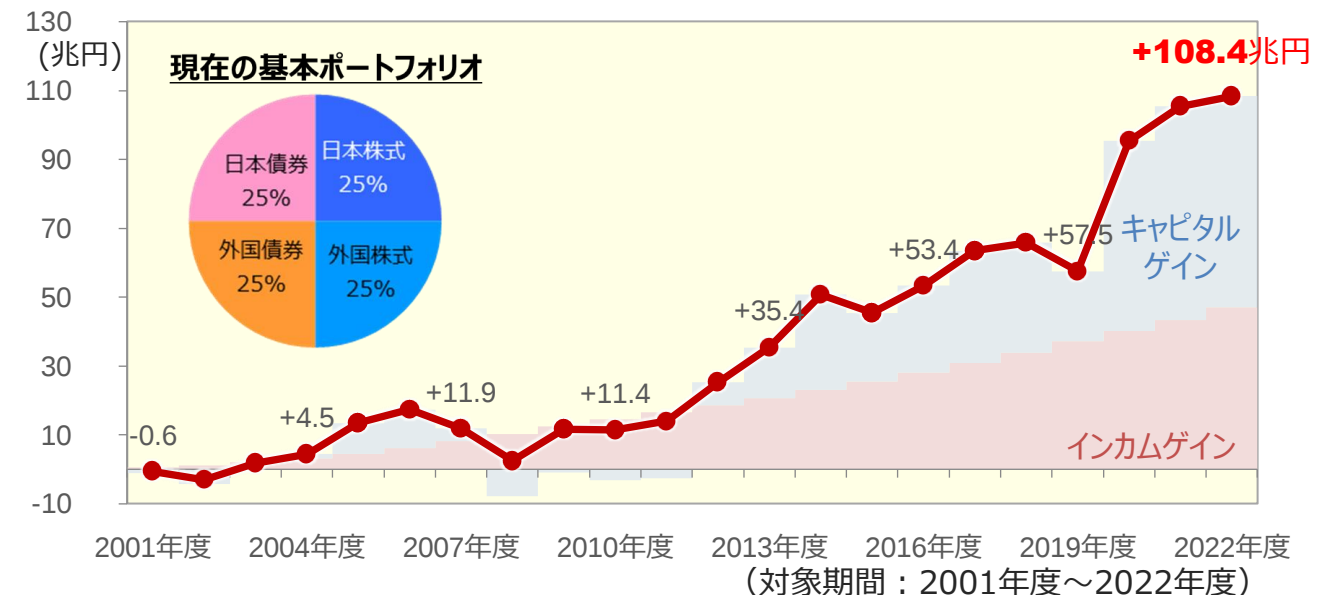
**ファンドラップは、
やっぱり大和証券。**

年度ごとの修正総合収益率（%）

2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
-2.5	-8.5	+12.5	+4.6	+14.4	+4.8	-6.4	-10.0	+9.6	-0.6	+2.5	+11.3	+9.3	+12.9	-4.0	+5.9	+6.9	+1.5	-5.2	+25.2	+5.4	+1.5

長期的観点からの運用状況（市場運用開始以降）

累積収益額	+108兆3,824億円
運用資産総額	200兆1,328億円
収益率（年率）	+3.59%



※年金積立金管理運用独立行政法人「2022年度業務概況書」より大和証券作成



1

当社ラップ口座残高4兆円突破！

2

ダイワファンドラップと国際分散投資

3

ダイワファンドラップが提供する運用プラン

4

ダイワファンドラップのメンテナンス機能

5

ご負担いただく費用について

3. ダイワファンドラップが提供する運用プラン 最適な運用プランの策定

 ファンドラップは、
やっぱり大和証券。

投資に関するお考えのヒアリング

1/7

Question 1

このご資金の運用はどのくらいの期間を想定されていますか。

該当の選択肢がない場合は、1年以上30年以内で数値を入力してください。

3年程度 5年程度 **10年程度** 15年程度 20年程度

10 年

2/7

Question 2

今回の投資資金の大部分を、引き出す予定はありますか。

1つご選択ください

- ☐ 1～2年以内にある
- ☐ 3～5年以内にある
- ☒ 6～10年以内にある
- ☐ 当面予定はない

3/7

Question 3

このご資金の運用の目的をお教えてください。

1つご選択ください



将来に備えた資産の運用



退職金の運用



住宅購入や教育費などの
支出に備えた運用



旅行や趣味などの
レジャー資金の運用



相続・贈与資金の運用



用途の決まっていない
資金（余裕資金）の運用

4/7

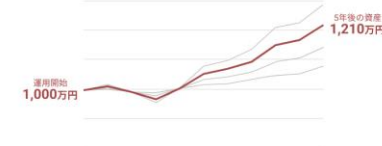
Question 4

1,000万円を5年間投資した場合の結果として、
どちらに最も魅力を感じますか。

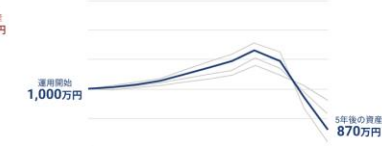
1つご選択ください

※あくまでイメージとしてお示しするものであり、実際の運用成果を保証するものではありません。

良いケース



悪いケース



960万円～1,080万円 920万円～1,140万円 **870万円～1,210万円** 820万円～1,290万円

3. ダイワファンドラップが提供する運用プラン 最適な運用プランの策定

 ファンドラップは、
やっぱり大和証券。

投資に関するお考えのヒアリング

5/7

Question 5

今回のご投資におけるリスクとリターンについてのお考えに
最も当てはまるものをお教えてください。

1つご選択ください

- ☐ リスクは可能な限り抑えたいが、
預貯金金利をやや上回るリターンは確保したい。
- ☐ ある程度のリターンを得るためには、多少のリスクなら許容できる。
- ☒ リスクとリターンのバランスを重視した運用を行いたい。
- ☐ 高いリスクを取ってでも、リターンの最大化を目指したい。



6/7

Question 6

お客さまが投資の判断を行なう際の、利益や損失に対するお考えに
最も当てはまるものをお教えてください。

1つご選択ください



損失が出るのが
心配になる



利益が出ることも
損失が出ることも
両方考える



利益が出るのを
楽しみにする

7/7

Question 7

運用期間中に運用資産が大きく値下がりした場合、
どのような判断をされますか。

1つご選択ください



更なる損失を避けるため
運用の終了を検討する



相場が回復するまで
しばらく様子を見る



チャンスと捉え
資金を追加する

金額設定

運用プランのご提案にあたり、シミュレーションを実施します。
シミュレーション条件を選択し、金額を設定してください。

1つご選択し、その金額をご入力ください



初期投資金額を設定

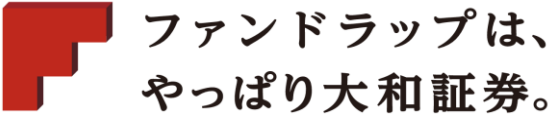


達成したい
目標金額を設定

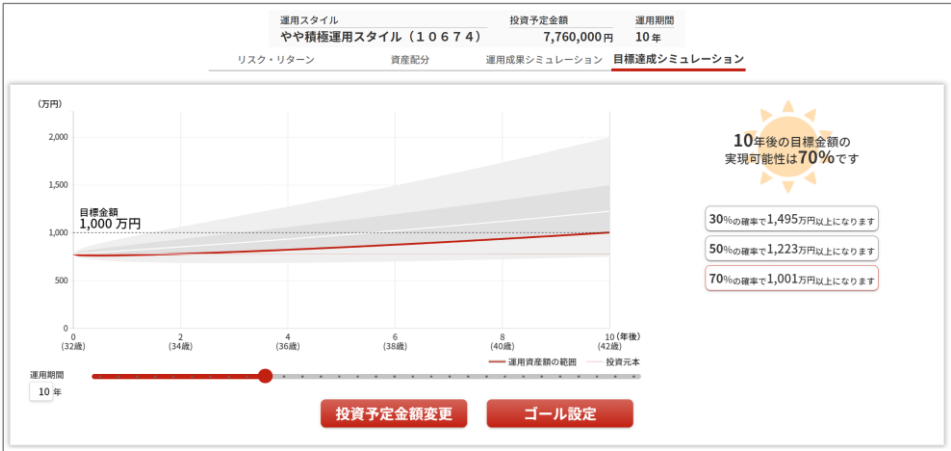
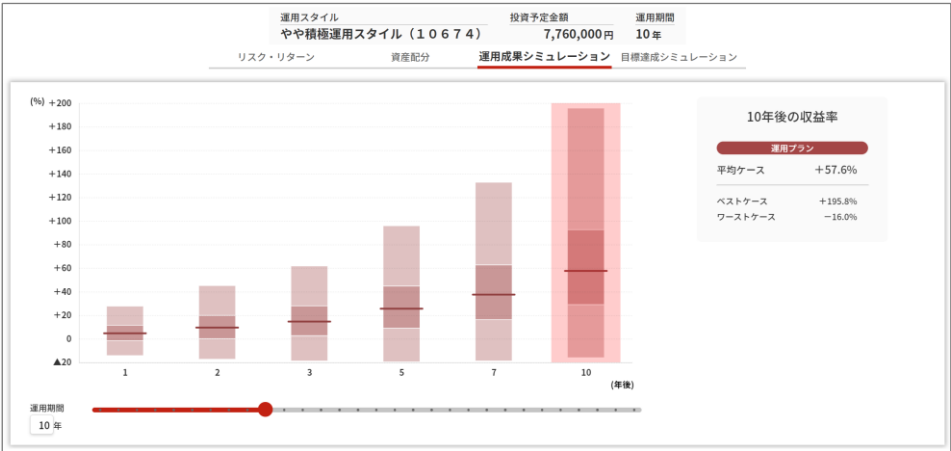
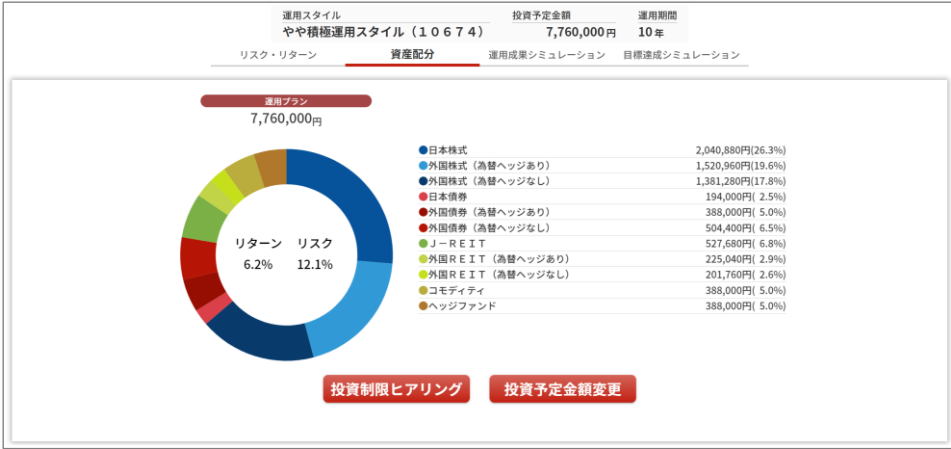
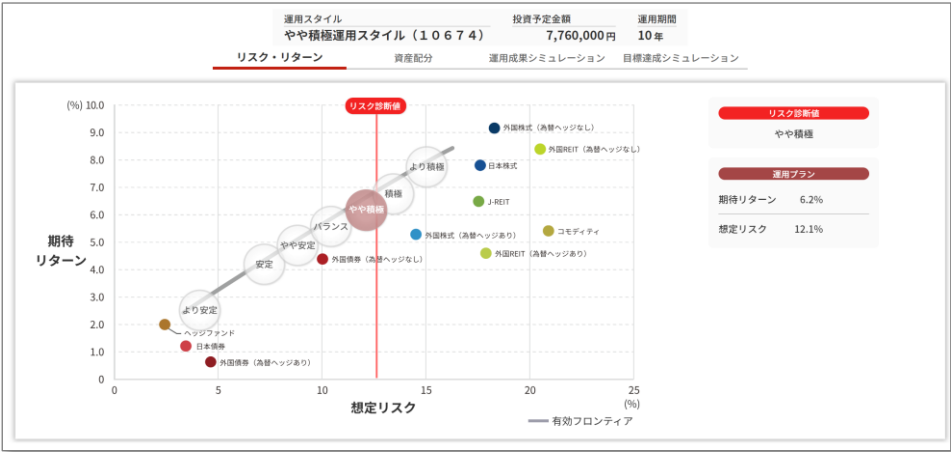
目標金額

1,000 万円

3. ダイワファンドラップが提供する運用プラン
最適な運用プランの策定



お客さまに応じた運用プランのご提案



主な運用スタイルと将来シミュレーション

ファンドラップは、
やっぱり大和証券。

お客さまのご希望される方針・期間に沿った「国際分散投資」をご選択いただけます。

	より安定	安定	やや安定	バランス	やや積極	積極	より積極
スタイルコード	10350	10071	10072	10073	10074	10075	10076
基準配分比率（2024年6月時点）							
	● 日本株式 ● 外株(H) ● 外国株式 ● 日本債券 ● 外債(H) ● 外国債券 ● j-REIT ● 外国REIT(H) ● 外国REIT ● コモディティ ● ヘッジファンド (H) ...為替ヘッジあり						

	将来シミュレーション						
年換算リターンの中央値(想定)	1.5%	2.9%	3.7%	4.4%	5.1%	5.8%	6.3%
ボラティリティ（想定標準偏差）	4.5%	7.2%	8.8%	10.4%	12.1%	13.6%	15.0%
平均的な年間リターンの想定範囲	▲5.7% ~9.3%	▲8.6% ~15.8%	▲10.3% ~19.8%	▲12.0% ~23.8%	▲13.9% ~28.2%	▲15.4% ~32.3%	▲17.0% ~36.0%

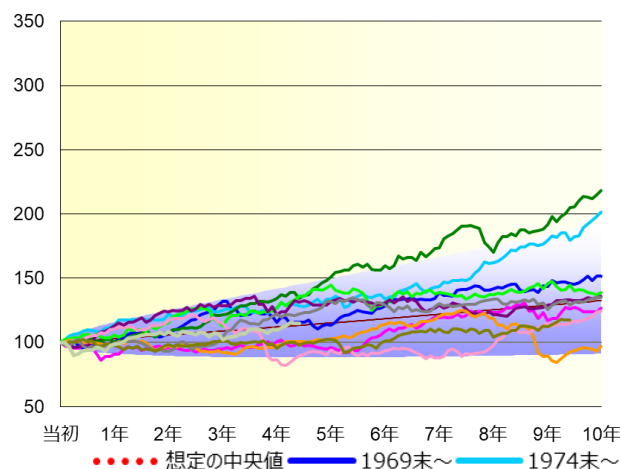


より安定運用スタイル・より積極運用スタイルは、プレミアム特約をお申込みいただいた場合のみ、お申込みいただけます。当資料に記載の運用スタイルは、数あるスタイルのうちの一例です。運用スタイルははビアリング等を通じてお客さまの投資方針に沿って決まります。当社が推計した期待リターンと想定リスク等に基づいて試算したものであり、将来におけるお客さまの運用成果を保証するものではありません。また、これらは経済環境の変化等に応じて随時見直しが行われます。そのため、本シミュレーション結果も変化します。本シミュレーション試算にあたっては、試算時点の運用コスト相当額を控除しております。

主な運用スタイルと将来シミュレーション

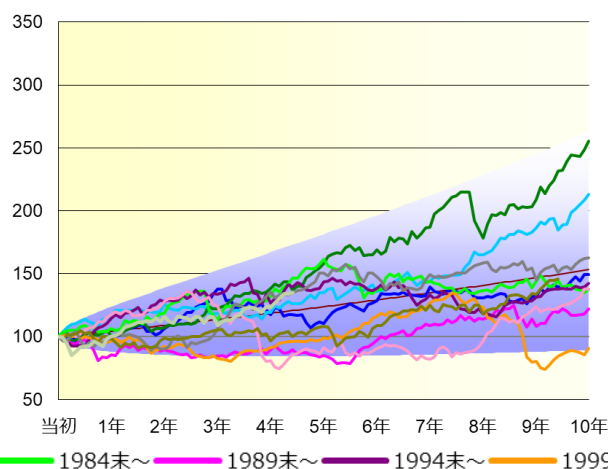
お客さまのご希望される方針・期間に沿った「国際分散投資」をご選択いただけます。

安定運用スタイル（10071）



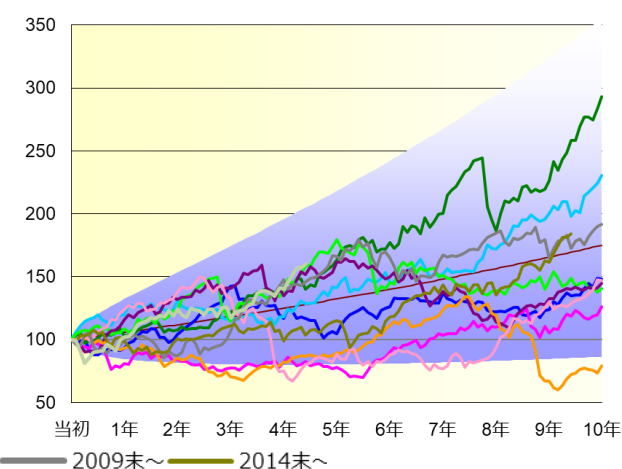
年率換算リターンの中点値(想定)	2.9%
ボラティリティ（想定標準偏差）	7.2%
平均的な年間リターンの想定範囲	▲8.6% ～ 15.8%

バランス運用スタイル（10073）



年率換算リターンの中点値(想定)	4.4%
ボラティリティ（想定標準偏差）	10.4%
平均的な年間リターンの想定範囲	▲12.0% ～ 23.8%

積極運用スタイル（10075）

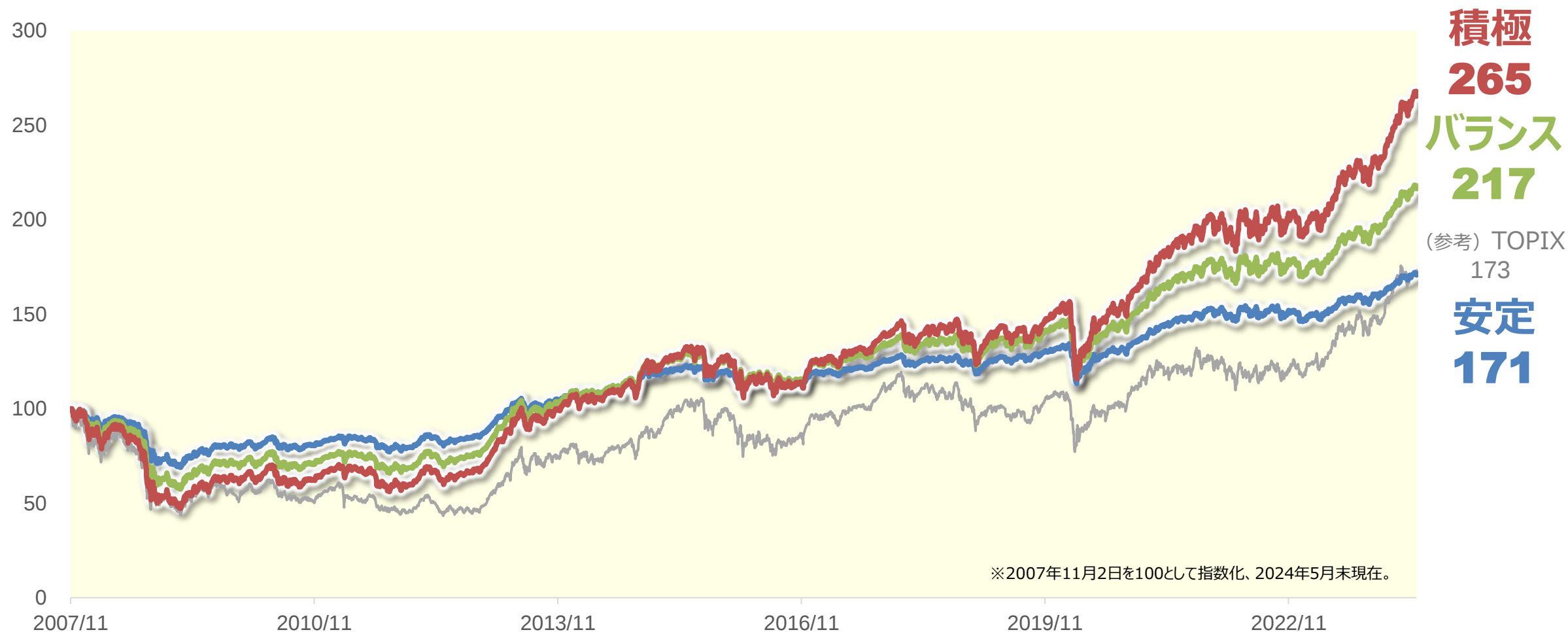


年率換算リターンの中点値(想定)	5.8%
ボラティリティ（想定標準偏差）	13.6%
平均的な年間リターンの想定範囲	▲15.4% ～ 32.3%

●バックテスト（折れ線グラフ、各年末=100とした推移）は、指数の月次騰落率から運用コスト相当額を差し引いて計算し、作成しています。●想定範囲（グラフの網かけ部分、運用のイメージ図）は上記各表の条件で計算し、作成しています。《将来シミュレーション（運用のイメージ（想定範囲））と「バックテスト」について》●各運用スタイルの期待リターンおよび想定リスクを用いて運用イメージを掴むために大まかな目安として一定の確率（90％）で想定される範囲を試算したものであり、運用成果を保障するものではありません。また、当シミュレーションの前提条件は、事前の予告なしに見直されるため、当シミュレーション結果も予告なしに変更されます。●過去の動向は、各インデックスと現在の配分比率を用いて計算したもので、実際の運用成果とは異なります。尚、計算にあたり、ヘッジファンドを含む運用スタイルの場合、ヘッジファンドと日本債券の比率合計を日本債券のパフォーマンスとして計算しています。J-REITは03年3月以前は日本株式、外国REITは89年7月以前は外国株式として計算しています。当資料において使用するインデックスは、次の通りです。日本株式：TOPIX（89年以降は配当込み）、日本債券：ダウ・ボンド・インデックス（80年12月までは金利推移から推計）、外国株式：MSCIワールド・インデックス（※）、外国債券：FTSE世界国債インデックス（日本を除く）（85年以前は米国債利回り・為替推移から推計）（※※）、外国REIT：S&P先進国REIT指数（日本を除く、配当込み）、日本REIT：東証REIT指数（配当込み）、コモディティ：S&P GSCIコモディティ指数（98年8月以降はRICI指数）、外国株式（為替ヘッジ有り）：MSCIワールド・インデックス（米ドルベース）と日米短期金利差より推計、外国債券（為替ヘッジ有り）：FTSE世界国債インデックス（日本を除く、円ヘッジ指数）（85年1月までは米国債利回り・日米短期金利差からの推計）、外国REIT（為替ヘッジ有り）：S&P先進国REIT指数（日本を除く米ドルベース指数、配当込み）と日米短期金利差から推計 ※各スタイルの計算において、スタイルによっては、MSCIワールド・マーケット・インデックス又はFTSE RAFI マーケティング・インデックスとの合成指数を用いている場合があります。※※各スタイルの計算において、スタイルによっては、JPレバノンEMBIグローバル・ダイバーシファイド 指数又はJPレバノンGBI-EM グローバル・ダイバーシファイド 指数との合成指数を用いている場合があります。データ出所：Bloomberg、Factset、モニングスター

主な運用スタイルの過去の値動き

 ファンドラップは、
やっぱり大和証券。



安定運用スタイル（10071）バランス運用スタイル（10073）積極運用スタイル（10075）を利用しております。当資料のパフォーマンスは、各月末時点における各スタイルの基準配分比率と選択されたファンドの基準価額から計算したモデルパフォーマンスであり、実際の運用成果とは異なります。各投資対象については、ダイワファンドラップ セレクト・シリーズを利用しております。パフォーマンス測定には、各ファンドの分配金修正済み基準価額を用い、ファンドラップフィー・税金は控除していません。

データ出所：Bloomberg

3. ダイワファンドラップが提供する運用プラン 主な運用スタイルの過去の値動き

**ファンドラップは、
やっぱり大和証券。**



安定運用スタイル（10071）バランス運用スタイル（10073）積極運用スタイル（10075）を利用しております。当資料のパフォーマンスは、各月末時点における各スタイルの基準配分比率と選択されたファンドの基準価額から計算したモデルパフォーマンスであり、実際の運用成果とは異なります。各投資対象については、ダイワファンドラップ セレクト・シリーズを利用しております。パフォーマンス測定には、各ファンドの分配金修正済み基準価額を用い、ファンドラップフィー・税金は控除していません。

データ出所：Bloomberg

ダイワファンドラップの運用体制



ファンドラップは、
やっぱり大和証券。

大和証券・大和ファンドコンサルティング・大和アセットマネジメントと、**グループ各社が協力して運用を行なっております。**

大和証券

Daiwa Securities

- 各資産クラスの期待リターン、想定リスクの推計
- 運用スタイルの設計
- 投資一任契約に基づく運用業務

ダイワファンドラップの
投資対象ファンドの設定・解約

大和アセットマネジメント

- ダイワファンドラップの投資対象ファンドの設定・運用

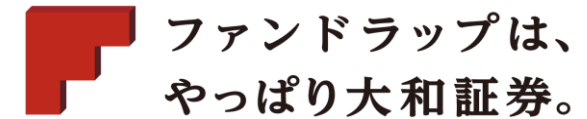
助言

大和ファンド・コンサルティング

- 各資産クラスの期待リターン、
想定リスク等の算出に係るデータ提供
- 相場環境に係るコメントの提供
- ダイワファンドラップの投資対象ファンドに組入れる投資信
託の選定・配分比率の助言および運用状況のモニタリング

3. ダイワファンドラップが提供する運用プラン

ライフイベントに応じたカスタマイズ



さまざまな運用以外のニーズにもお応えする 充実のソリューションサービス

定期受取サービス	寄附サービス	相続時受取人指定サービス	贈与サポートサービス	大和セゾンプラチナカード
“つかう”ために、ご契約資産から一定額を定期的に換金し、お支払します。	運用成果の一部を、お客さまにご指定頂いた団体へ寄附することができます。	“のこしたい人”を指定し、お客さまに相続が発生した場合、速やかに受け取れます。 プレミアム特約 安心つながる特約	“生前贈与”のため、毎年ご契約資産の一部を換金し受贈者の預金口座へ振込みます。 プレミアム特約 安心つながる特約	年会費無料でお持ちいただけます。条件等の詳細は、営業員までお申し付けください。 プレミアム特約

3. ダイワファンドラップが提供する運用プラン 円定期預金とのセットプラン

 ファンドラップは、
やっぱり大和証券。



対象商品を**1,000万円**以上ご購入（またはご契約）
いただくと同時に、
大和証券の本・支店で、大和ネクスト銀行の
円定期預金（3ヵ月もの）のお申込みをいただいた
お客さまを対象として、
円定期預金の金利を優遇させていただくサービスです。

2:1プラン 年7.0% / 1:1プラン 年4.0%

※登録金融機関の金融商品仲介口座をご利用のお客さまは対象外です。
※詳細なお申込み条件については、47ページ・48ページをご覧ください。

●上記金利の適用は、当初お預入期間（3ヵ月）のみとなり、初回満期日以降の利息は、満期時「自動解約」の場合、大和ネクスト銀行所定の円普通預金金利、満期時「自動継続」の場合、満期日（継続日）当日の同一期間の大和ネクスト銀行所定の円定期預金金利（通常金利）が適用されます。●2024年6月25日時点の通常金利：3ヵ月 個人 年0.05%（税引後 年0.039%）、法人 年0.03%（税引前）。●円定期預金は原則として中途解約できません。やむを得ず中途解約する場合は、大和ネクスト銀行所定の中途解約率が適用されます。●税引後の利率は復興特別所得税を加味した税率（20.315%）をもとに算出しています。法人のお客さまの預金利息については地方税の特別徴収は行なわないため、国税15.315%のみ源泉徴収いたします（非課税法人を除く）。●円定期預金3ヵ月（90日で試算）預入金額1,000万円のお受取利息の計算例（個人のお客さまの場合）「2：1プラン」1,000万円×7.0%×90日÷365日×79.685%＝137,538円、「1：1プラン」1,000万円×4.0%×90日÷365日×79.685%＝78,593円（1円未満は切捨て）●最新の通常金利、中途解約利率は、大和ネクスト銀行のホームページまたは、大和証券の本・支店にてご確認ください。

基準日：2024年6月25日

円定期預金とのセットプラン／ご利用条件①

対象商品	「大和証券指定の投資信託」* 1または 「ダイワファンドラップ」* 2「ダイワ アドバンスラップ」「ダイワプラチナウェルスラップ」（以下、「ラップサービス」と総称します。） * 1 大和証券指定の投資信託の詳細は、大和証券の本・支店にお問合わせください。なお、E T F 等の上場投資信託およびノーロードの投資信託等は含まれません。 * 2 ダイワファンドラップは、安心つながる特約、プレミアム特約をお申込みの場合も含まれます。プレミアム特約をお申込みの場合、本セットプランは、運用口単位でのお申込みとなります。
対象となるお客さま	「ダイワのツインアカウント」をお持ちの個人・法人のお客さま（金融機関等は対象外です）
お取扱窓口	大和証券の本・支店にてお申込みください。インターネットおよびコンタクトセンターでは受付けておりません。
適用条件	下記、①および②の条件に該当する場合 ① 同一の「対象商品」を1,000万円以上ご購入またはご契約 ② ①と同時に大和ネクスト銀行の円定期預金を10万円以上かつ、 〈「1：1プラン」の場合〉①の金額以下のお申込み（上限10億円） 〈「2：1プラン」の場合〉①の金額の50%以下のお申込み（上限5億円） 〈対象商品が「投資信託」の場合〉 同日の注文受付であれば、複数の投資信託のご購入金額（購入時手数料（税込）含む）の合計が1,000万円以上となった場合も対象となります（「NISA成長投資枠」にてご購入された場合も含む）。国内投資信託は金額指定注文でのご購入、外国投資信託は口数指定注文でのご購入が対象となります。「投信積立サービス」「NISA成長投資枠での投信積立」「NISAつみたて投資枠」「投信フレックスプラン」にてご購入いただいた金額は対象外です。 〈対象商品が「ラップサービス」の場合〉 円定期預金の預入金額の上限は、〈「1：1プラン」の場合〉10億円から対象商品の契約済残高（すでに契約済の対象商品の合計残高（本セットプランお申込日の前営業日時価評価額））を差引いた金額〈「2：1プラン」の場合〉「1：1プラン」における預入金額上限の50%とします。
円定期預金の 預入日	「投資信託」をご購入する場合：受渡日※の翌営業日 ※ 同日に複数の投資信託をご購入いただいた場合は、最後に到来する投資信託の受渡日。 「ラップサービス」をご契約する場合：運用開始日

円定期預金とのセットプラン／ご利用条件②

対象となる ご資金	① ご購入日またはご契約日の前月1日以降、円定期預金の預入日の前営業日まで（以下、「適用期間」）にご入金※1したご資金 ② 適用期間に満期日を迎えた大和ネクスト銀行円定期預金の満期金 ③ 適用期間に償還日※2を迎えた個人向け国債、事業債など円建て債券の償還金※2 ただし、①～④の金額は差し引きます。①適用期間中の円貨・外貨でのご出金、他社への有価証券の預け替え時点での時価相当額、②適用期間中に既にセットプランで利用された金額③「ラップサービス」にてセットプランをお申込みする場合、契約日の過去1年以内に行なわれたセットプランを利用する当該商品の解約（契約終了・減額・運用口削除・スタイル削除）金額の合計額、④「投資信託」にてセットプランをお申込みする場合、ご購入日の過去1年以内に行なわれたセットプランの対象商品として購入する投資信託と同一投資信託*の換金金額の合計額。 *複数コース（「為替ヘッジあり」コースと「為替ヘッジなし」コース等）がある場合は合算。 ※1 ご入金には、外貨でのご入金、有価証券の相続・他社からの預け替え時点での時価相当額を含みます。その他、別途大和証券が入金に準ずると認めた場合を含みます。 ※2 償還日・償還金には、大和証券が償還日・償還金に準ずると認めた場合を含みます。
その他 ご留意事項	●本セットプランを利用した円定期預金は、各プランごと3カ月の円定期預金のみ、ご購入またはご契約いただいた対象商品毎にお申込みいただけます。なお、円定期預金のお預入日以降にプランの変更はできません。●ご利用条件の精査の結果、当初お申込みいただいた円定期預金の一部または全部に本セットプランの上乗せ金利が適用できない場合があります。その場合においてもご購入いただいた投資信託の注文の取消し、「ラップサービス」の運用の中止をすることはできません。●「ラップサービス」について、ご契約が成立しなかった場合や運用開始前にご契約を取り消された場合は、円定期預金のお申込みも無効となります。●「投資信託」には、ご注文をお受けできない日があります（ファンド休業日）。各投資信託の休業日や受渡日は各投資信託の投資信託説明書（交付目論見書）をご確認ください。●本セットプランにおける外国投資信託のご購入金額は大和証券が定める価額に基づいて計算されます。実際の約定におけるご購入金額とは異なります。●大和ネクスト銀行では、現金でのお預入れ、払戻しは取扱っておりません。大和ネクスト銀行への送金（振込）に際しては、お取扱い金融機関所定の手数料がかかります。●過去のお取引状況等に鑑み、本セットプランのご利用をお断りする場合があります。●本セットプランの内容は、予告なく変更・中止する場合があります。●本セットプランをご利用のご資金は、大和証券または大和ネクスト銀行が実施する他の金利優遇キャンペーン・サービスとの併用はできません。●大和証券グループの役職員、ならびに登録金融機関の金融商品仲介口座をご利用のお客さまは対象外です。●詳細は大和証券の本・支店までお問い合わせください。



1

当社ラップ口座残高4兆円突破！

2

ダイワファンドラップと国際分散投資

3

ダイワファンドラップが提供する運用プラン

4

ダイワファンドラップのメンテナンス機能

5

ご負担いただく費用について

常に最適な資産配分で運用を続けるための資産管理



ファンドラップは、
やっぱり大和証券。

お客さまごとの
最適なポートフォリオ



資産管理機能によって、常に「ベストコンディション」での運用を目指します

お客さまごとの
最適なポートフォリオ



資産管理機能によって、常に「ベストコンディション」での運用を目指します

基準配分比率の調整

中長期的な経済・市場環境の見通しに基づき、
各運用スタイルの基準配分比率の見直しを行ないます。

お客さまごとの
最適なポートフォリオ



投資環境が変化

ポートフォリオの見直し



リバランス

運用中のファンドラップが、基準配分比率と乖離が
生じた場合、比率調整のため売買を行ないます。

お客さまごとの
最適なポートフォリオ



相場が変動

最適なポートフォリオからの
比率のズレ



比率調整

最適な
ポートフォリオの保持



過去の相場急落時におけるメンテナンス

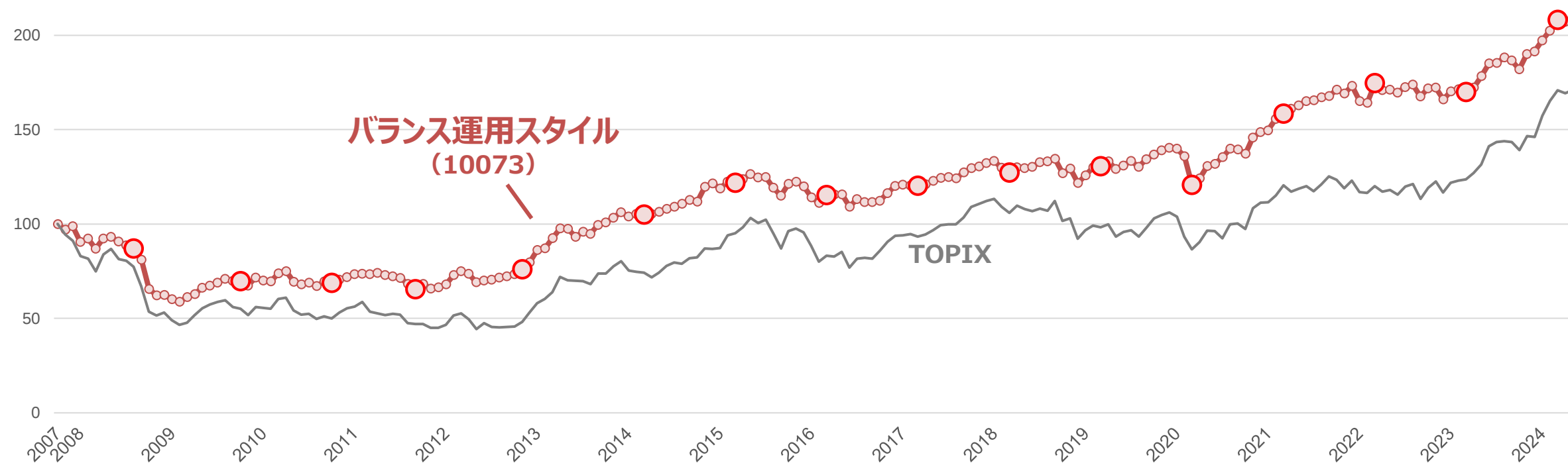
**ファンドラップは、
やっぱり大和証券。**

基準配分比率の調整

原則年1回（臨時あり） 下表 = ○

リバランス

年12回判定（毎月） 下表 = ○



バランス運用スタイル：一定の配分比率を維持する運用（リバランス）を行った場合。運用コスト等は考慮していません。当運用スタイルのグラフは、同じ運用方針のスタイルである、バランス運用スタイル（0033）のパフォーマンスを代用し作成しています。なお、バランス運用スタイル（0033）は現在新規契約でのお取り扱いはありません。各月末時点における基準配分比率とファンドラップ セレクト・シリーズの基準価額から計算したモデルパフォーマンスであり、実際の運用成果とは異なります。また、配分比率は今後、予告なしに変更することがあります。データ出所：Bloomberg、Factset

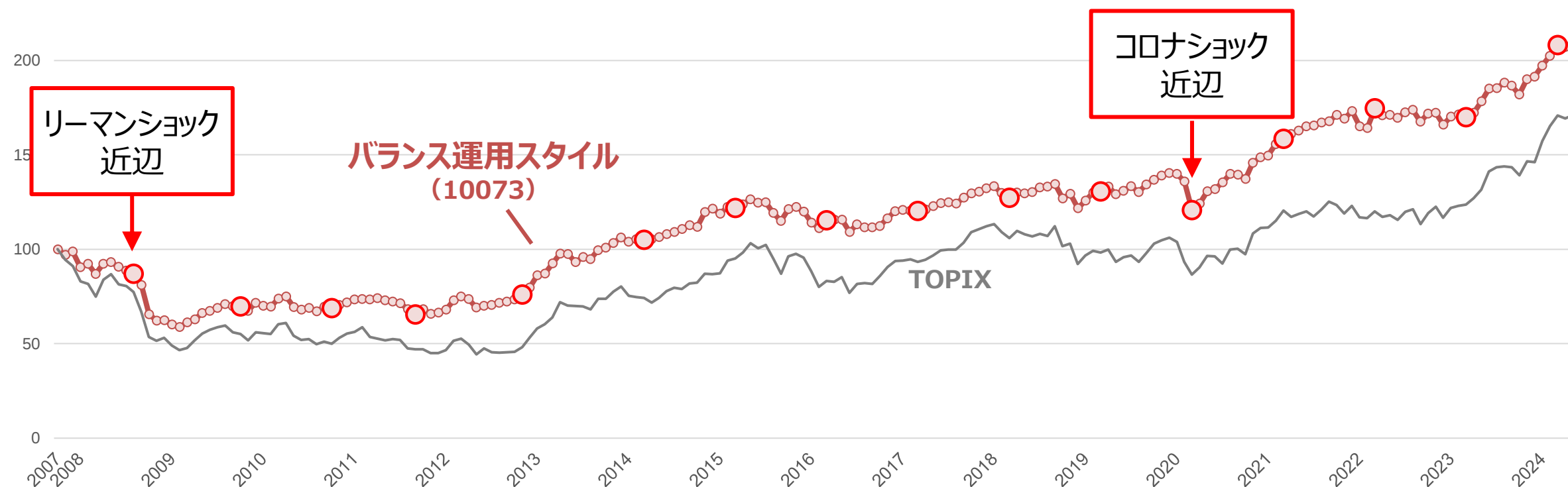
過去の相場急落時におけるメンテナンス

基準配分比率の調整

原則年1回（臨時あり） 下表 = ○

リバランス

年12回判定（毎月） 下表 = ○



バランス運用スタイル：一定の配分比率を維持する運用（リバランス）を行った場合。運用コスト等は考慮していません。当運用スタイルのグラフは、同じ運用方針のスタイルである、バランス運用スタイル（0033）のパフォーマンスを代用し作成しています。なお、バランス運用スタイル（0033）は現在新規契約でのお取り扱いはありません。各月末時点における基準配分比率とファンドラップ セレクト・シリーズの基準価額から計算したモデルパフォーマンスであり、実際の運用成果とは異なります。また、配分比率は今後、予告なしに変更することがあります。データ出所：Bloomberg、Factset



リーマンショック近辺：基準配分比率の調整

リーマンショック近辺（2008年9月初）

背景

- 結果的にリーマンショック（08年9－10月）直前の配分比率変更となった。
- 長期的に世界経済の拡大が続くと考えられるが、足元で下振れリスクが高まっていることを考慮。
- また、リスク資産間の相関が上昇しており、各運用スタイルにおけるリスクの上昇を懸念。

内容

多くのスタイルで
**外国株式の比率を低下させ、
日本または外国債券の比率を高めた。**

リーマンショック近辺：基準配分比率の調整

リーマンショック近辺（2008年9月初）

背景

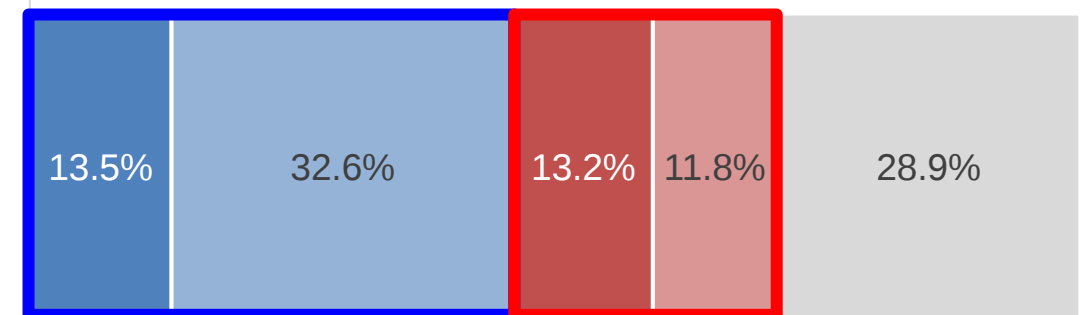
- 結果的にリーマンショック（08年9－10月）直前の配分比率変更となった。
- 長期的に世界経済の拡大が続くと考えられるが、足元で下振れリスクが高まっていることを考慮。
- また、リスク資産間の相関が上昇しており、各運用スタイルにおけるリスクの上昇を懸念。

内容

多くのスタイルで
**外国株式の比率を低下させ、
日本または外国債券の比率を高めた。**

バランス運用スタイル（0073）の基準配分比率変更

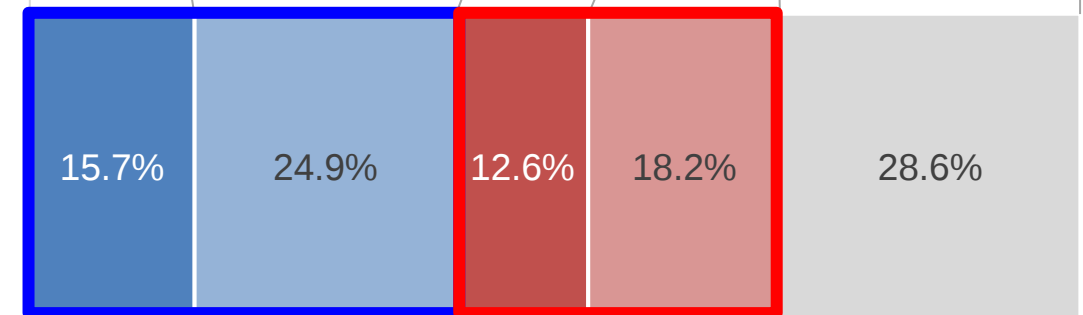
変更前



株式

債券

変更後



■ 日本株式 ■ 外国株式 ■ 日本債券 ■ 外国債券 ■ その他

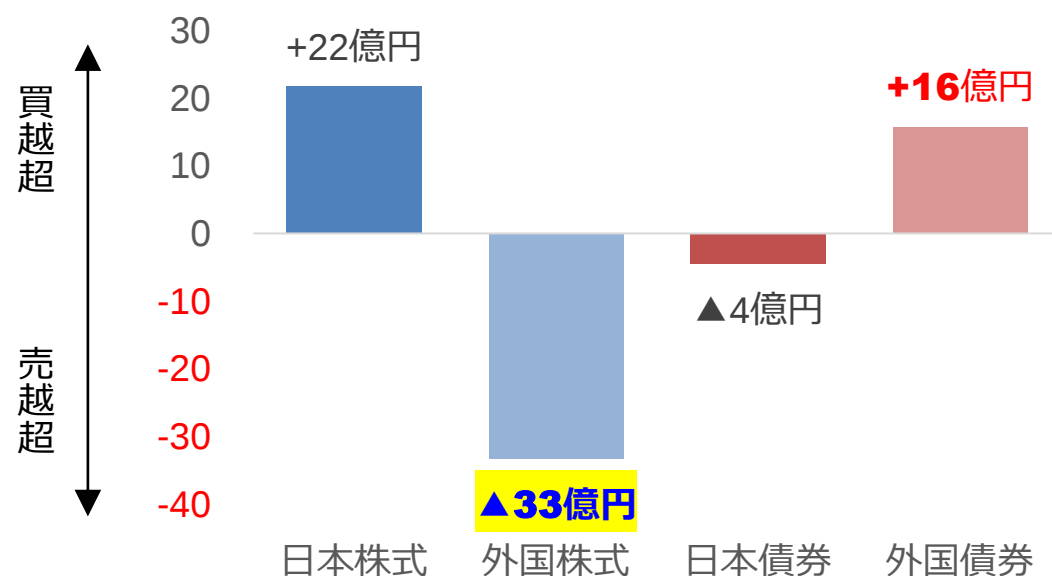
リーマンショック近辺：リバランス

リーマンショック近辺（2008年9月初）

ファンドラップ既契約者の、99.9%※の口座でリバランスが発生 ※同年平均：18.6%

多くのスタイルで

外国株式：売／外国債券：買



※FW基本契約・旧FWのリバランスについて。

※各セレクトシリーズの買越または売越金額。リバランス発生顧客の増額・減額等による投信の売買含む。

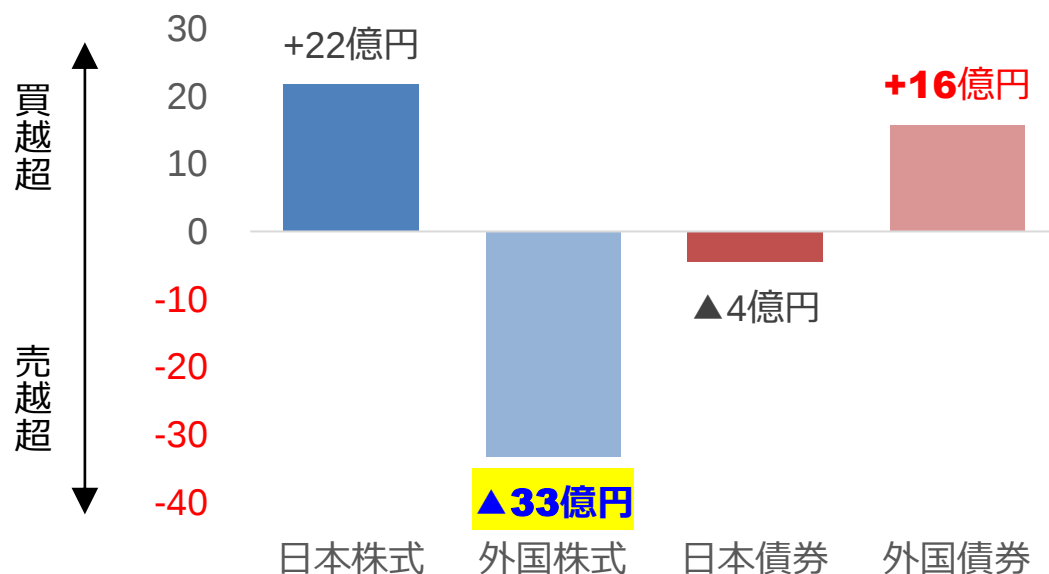
※外国株式は外国株式セレクトと外国株式セレクトEM+、外国債券は外国債券セレクトと外国債券セレクトEM+との合計。

リーマンショック近辺：リバランス

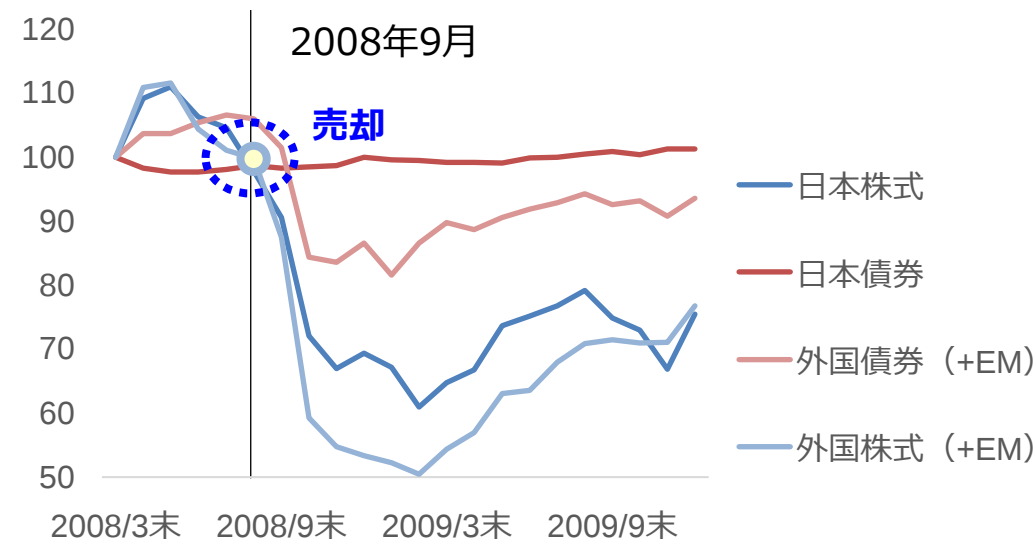
リーマンショック近辺（2008年9月初）

ファンドラップ既契約者の、99.9%*の口座でリバランスが発生 ※同年平均：18.6%

多くのスタイルで
外国株式：売／外国債券：買



結果的に
外国株式を急落直前に売却



※FW基本契約・旧FWのリバランスについて。

※各セレクトシリーズの買越または売越金額。リバランス発生顧客の増額・減額等による投信の売買含む。

※外国株式は外国株式セレクトと外国株式セレクトEM+、外国債券は外国債券セレクトと外国債券セレクトEM+との合計。

※各セレクトシリーズの推移。2019年10月末を100として指数化。

コロナショック近辺：基準配分比率の調整



ファンドラップは、
やっぱり大和証券。

コロナショック近辺（2020年4月初）

背景

- ・ 内外株式は、新型肺炎による景気悪化懸念により下落も、各国の経済対策によりリターンが期待できると想定。
- ・ 内外債券は、低金利環境が進行する中で、潜在的な金利リスクが継続していると想定。
- ・ 内外REITは、投資家心理の悪化に伴い下落も、相対的に高い配当利回り水準からリターンが期待できると想定。

内容

多くのスタイルで

**株式・REITの比率を高め、
債券・ヘッジファンドの比率を低下させた。**

コロナショック近辺：基準配分比率の調整

コロナショック近辺（2020年4月初）

背景

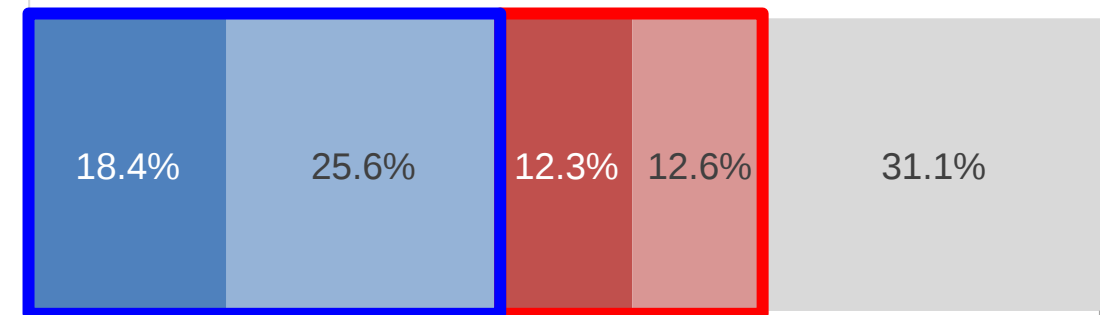
- ・ 内外株式は、新型コロナウイルスによる景気悪化懸念により下落も、各国の経済対策によりリターンが期待できると想定。
- ・ 内外債券は、低金利環境が進行する中で、潜在的な金利リスクが継続していると想定。
- ・ 内外REITは、投資家心理の悪化に伴い下落も、相対的に高い配当利回り水準からリターンが期待できると想定。

内容

多くのスタイルで
**株式・REITの比率を高め、
債券・ヘッジファンドの比率を低下させた。**

バランス運用スタイル（10073）の基準配分比率変更

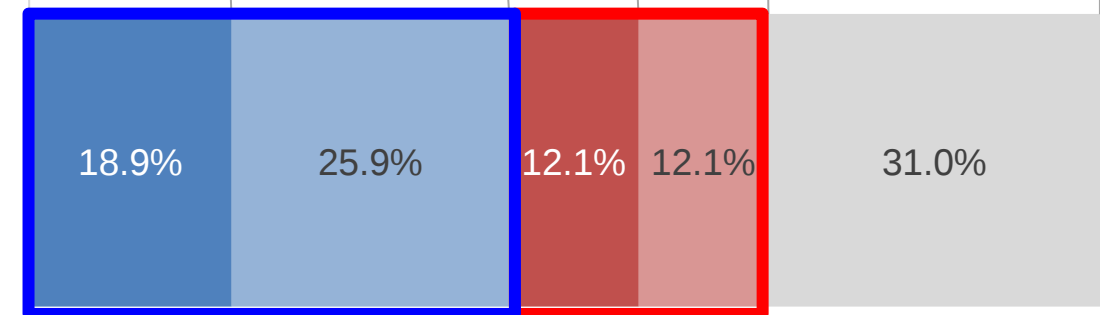
変更前



株式

債券

変更後



■ 日本株式 ■ 外国株式 ■ 日本債券 ■ 外国債券 ■ その他

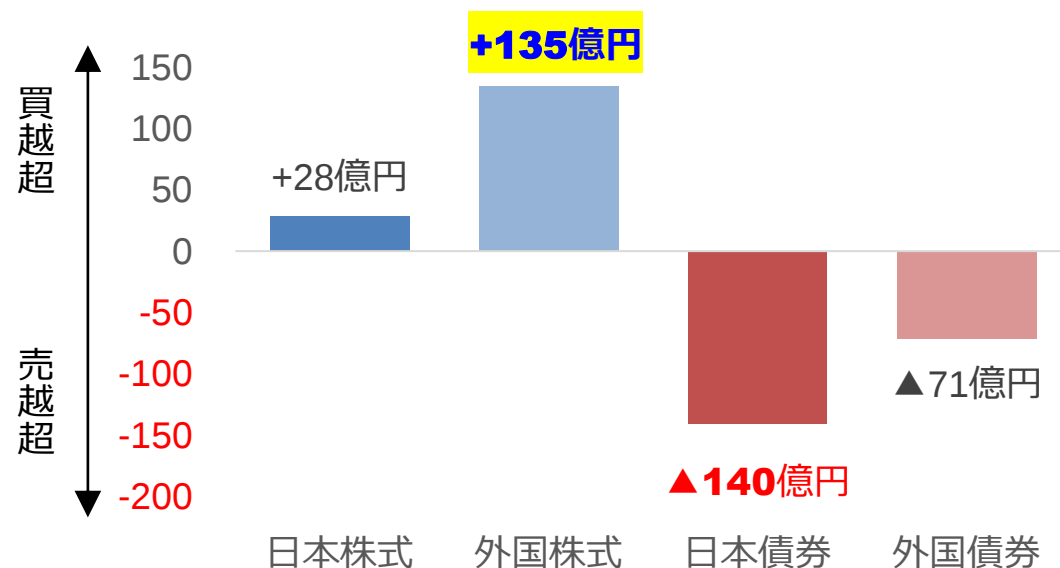
コロナショック近辺：リバランス

コロナショック近辺（2020年4月初）

ファンドラップ既契約者の、38.5%※の口座でリバランスが発生 ※同年平均：7.7%

多くのスタイルで

外国株式：買 / **日本債券：売**



※FW基本契約・旧FWのリバランスについて。

※各セレクトシリーズの買越または売越金額。リバランス発生顧客の増額・減額等による投信の売買含む。

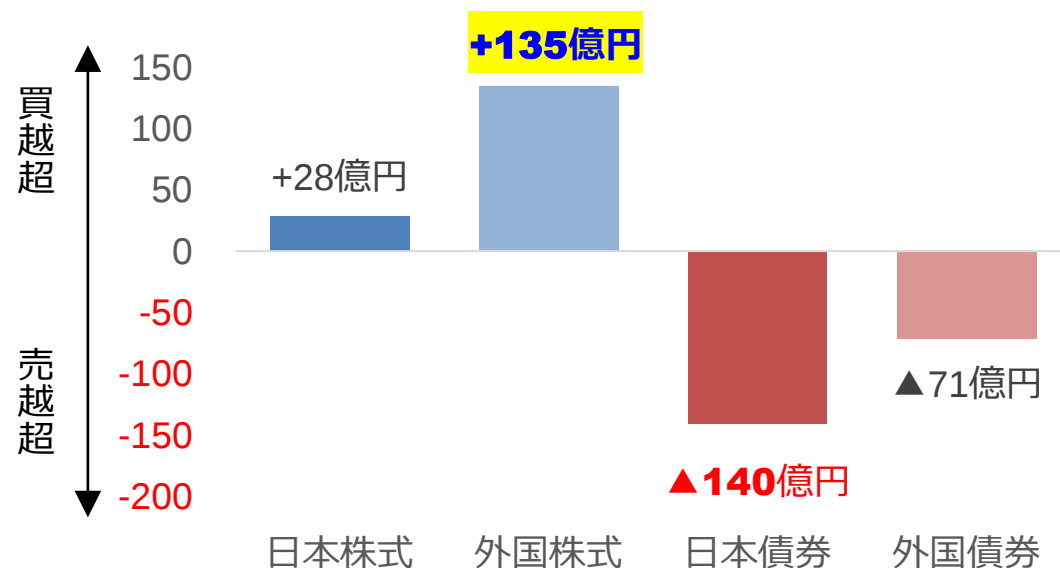
※外国株式は外国株式セレクトと外国株式セレクトEM+、外国債券は外国債券セレクトと外国債券セレクトEM+との合計。

コロナショック近辺：リバランス

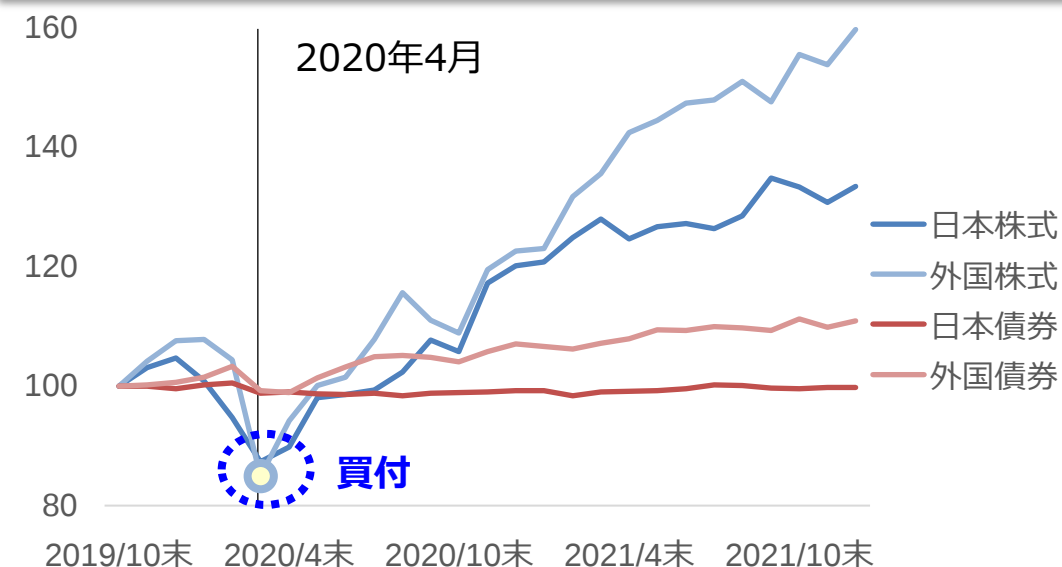
コロナショック近辺（2020年4月初）

ファンドラップ既契約者の、38.5%※の口座でリバランスが発生 ※同年平均：7.7%

多くのスタイルで
外国株式：買 / 日本債券：売



結果的に
外国株式を急落直後に買付



※FW基本契約・旧FWのリバランスについて。

※各セレクトシリーズの買越または売越金額。リバランス発生顧客の増額・減額等による投信の売買含む。

※外国株式は外国株式セレクトと外国株式セレクトEM+、外国債券は外国債券セレクトと外国債券セレクトEM+との合計。

※各セレクトシリーズの推移。2019年10月末を100として指数化。

さらなるパフォーマンス向上のための仕組み

例：「ダイワファンドラップ 日本株式セレクト」について

① 選定ファンド

組入投資信託名	運用会社
J Flag 中小型株ファンド★	シンプレクス・アセット・マネジメント
T&D / マイルストーン日本株ファンド★	T&Dアセットマネジメント
大和住銀ニッポン中小型株ファンド★	三井住友DSアセットマネジメント
ダイワ・スマート日本株ファンダメンタル・ファンド★	大和アセットマネジメント
DIAM国内株式アクティブ市場型ファンド★	アセットマネジメントOne
日本小型株フォーカス・ファンド★	BNY Mellon・インベストメント・マネジメント・ジャパン
ダイワ成長株オープン★	大和アセットマネジメント
ニッセイJPX日経400アクティブファンド★	ニッセイアセットマネジメント
リサーチ・アクティブ・オープンF	野村アセットマネジメント
損保ジャパン日本興亜ラージキャップ・バリュー・ファンド★	SOMPOアセットマネジメント
日本長期成長株集中投資ファンド	ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント
ニッセイ日本株グロースファンド★	ニッセイアセットマネジメント
国内高配当株フォーカス★	三井住友DSアセットマネジメント
日本株 EVI ハイアルファ★	三井住友DSアセットマネジメント
日本大型株長期厳選投資★	大和アセットマネジメント
ダイワ中小型株ファンド★	大和アセットマネジメント
グローバルX MSCIスーパーディビデンド-日本株式ETF	Global X Japan

2024年6月時点。★はファンド・オブ・ファンズ用。組入投資信託はダイワファンドラップ目論見書に記載されているものであり、今後、名称変更となる場合、繰り上げ償還等により投資信託証券が除外される場合、新たな投資信託証券が追加となる場合等があります。

4. ダイワファンドラップのメンテナンス機能

さらなるパフォーマンス向上のための仕組み

 ファンドラップは、
やっぱり大和証券。

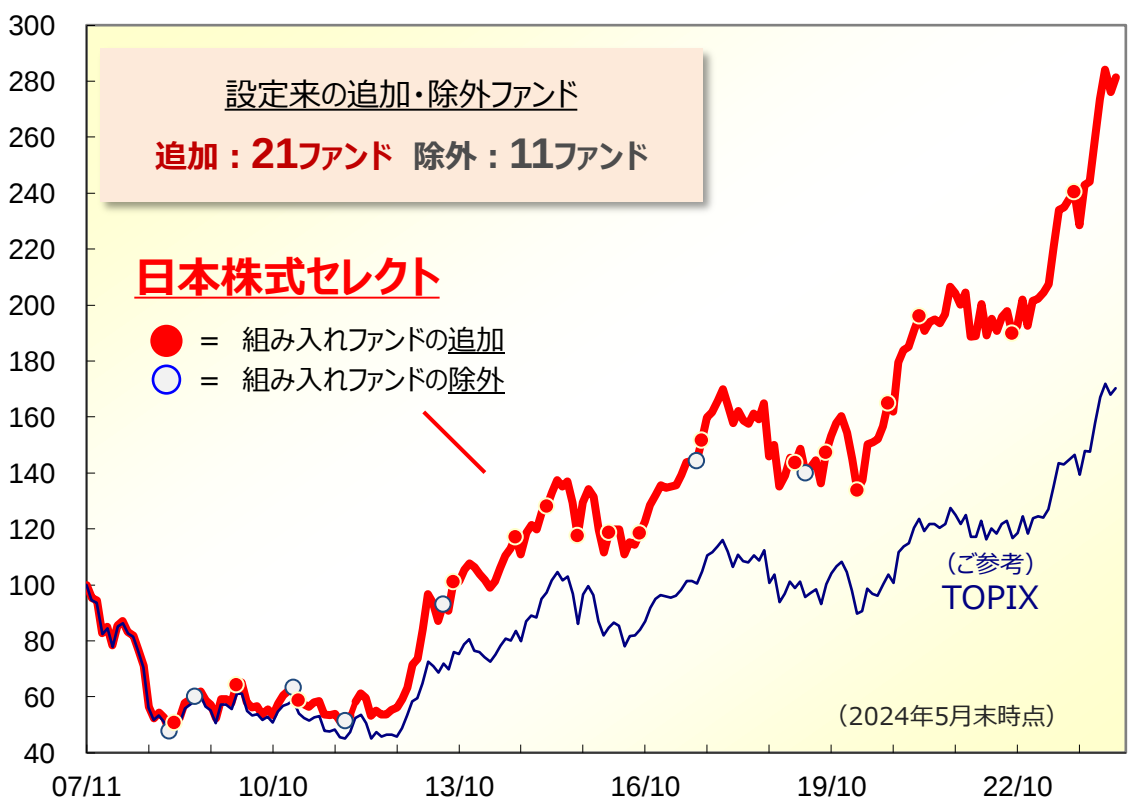
例：「ダイワファンドラップ 日本株式セレクト」について

① 選定ファンド

組入投資信託名	運用会社
J Flag 中小型株ファンド★	シンプレクス・アセット・マネジメント
T&D / マイルストン日本株ファンド★	T&Dアセットマネジメント
大和住銀ニッポン中小型株ファンド★	三井住友DSアセットマネジメント
ダイワ・スマート日本株ファンダメンタル・ファンド★	大和アセットマネジメント
DIAM国内株式アクティブ市場型ファンド★	アセットマネジメントOne
日本小型株フォーカス・ファンド★	BNYメロン・インベストメント・マネジメント・ジャパン
ダイワ成長株オープン★	大和アセットマネジメント
ニッセイJPX日経400アクティブファンド★	ニッセイアセットマネジメント
リサーチ・アクティブ・オープンF	野村アセットマネジメント
損保ジャパン日本興亜ラージキャップ・バリュー・ファンド★	SOMPOアセットマネジメント
日本長期成長株集中投資ファンド	ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント
ニッセイ日本株グロースファンド★	ニッセイアセットマネジメント
国内高配当株フォーカス★	三井住友DSアセットマネジメント
日本株 EVI ハイアルファ★	三井住友DSアセットマネジメント
日本大型株長期厳選投資★	大和アセットマネジメント
ダイワ中小型株ファンド★	大和アセットマネジメント
グローバルX MSCIスーパーディビデンド-日本株式ETF	Global X Japan

2024年6月時点。★はファンド・オブ・ファンズ用。組入投資信託はダイワファンドラップ目論見書に記載されているものであり、今後、名称変更となる場合、繰り上げ償還等により投資信託証券が除外される場合、新たな投資信託証券が追加となる場合等があります。

② 運用状況



契約概要（一部抜粋）

	申込可能期間	申込条件
新規契約	毎営業日	300万円以上（1万円単位）
増額	毎営業日	100万円以上（1万円単位）
運用口追加	毎営業日	300万円以上（1万円単位）
減額	毎営業日（運用開始日の3カ月後から）	1万円以上（1万円単位）
契約終了	毎営業日（契約締結日の3カ月後から）	—
スタイル変更	毎営業日（翌月1日から変更）	運用口ごと
付帯サービス	毎営業日	運用口ごと

※プレミアム特約・安心つながる特約の申込等、別途条件を満たす必要なケースもございます。詳細は、本・支店の営業員までお問合せください。



1

当社ラップ口座残高4兆円突破！

2

ダイワファンドラップと国際分散投資

3

ダイワファンドラップが提供する運用プラン

4

ダイワファンドラップのメンテナンス機能

5

ご負担いただく費用について

ファンドラップにおいてご負担いただく費用について



ファンドラップは、
やっぱり大和証券。

1. 直接ご負担いただく費用

ファンドラップ・フィー

大和証券に
お支払いいただく費用

投資顧問料

取引等管理手数料

投資一任運用サービスに対する費用

- | | |
|--|--|
| ☒ 運用スタイルの構築や変更 | ☒ 運用スタイルや投資信託のモニタリング |
| ☒ 投資対象となる投資信託の選定 | ☒ 四半期運用報告書やマンスリーレポートの作成 など |

証券業務に対する費用

- | | |
|--|---|
| ☒ 投資信託の発注や約定等の管理 | ☒ 取引報告書の作成 |
| ☒ ファンドラップシステムのメンテナンス | ☒ 付帯サービスの運営管理 |
| ☒ 証券口座のメンテナンス | ☒ 投資一任契約役務 など |

+

2. 間接的にご負担いただく費用

投資対象となる 投資信託に係る費用

投資信託の委託会社等へ
間接的にご負担いただく費用

信託報酬

その他費用

投資信託の販売、運用、管理に対する費用

- | | |
|--|---|
| 【販売会社】
☒ 購入後の情報提供
☒ 運用報告書等各種書類の送付
☒ 口座内での投資信託の管理及び事務手続き等 | 【委託会社】
☒ 投資信託の運用
☒ 目論見書等の法定書類の作成
☒ 基準価額の算出等 |
| 【受託会社】
☒ 投資信託の財産の保管・管理
☒ 委託会社からの運用指図の実行等 | 【その他】
☒ 組入投資信託の運用管理費用 など |
| ☒ 監査法人等に支払われる監査費用
☒ 有価証券の売買時の売買委託手数料 | ☒ 資産を外国で保管する場合の費用
☒ 先物取引・オプション取引等に要する費用 など |

ご負担いただく費用について／ファンドラップ・フィー

ファンドラップ・フィー年率／税込（カッコ内は税抜）

- ダイワファンドラップの運用・管理等に係る料金として、ご契約資産の評価額に応じてファンドラップ・フィーをお支払いいただきます。
- 計算期間ごと（1計算期間は3カ月間）に、ファンドラップ・フィーをご契約資産より引落しします。

資産評価額（契約金額）	資産保全重視	より安定	安定	やや安定	バランス	やや積極	積極	より積極
1,000万円以下の部分	0.770% (0.70%)	1.100% (1.00%)	1.540% (1.40%)	1.540% (1.40%)	1.540% (1.40%)	1.540% (1.40%)	1.540% (1.40%)	1.540% (1.40%)
1,000万円超 3,000万円以下の部分	0.715% (0.65%)	0.935% (0.85%)	1.320% (1.20%)	1.375% (1.25%)	1.430% (1.30%)	1.485% (1.35%)	1.540% (1.40%)	1.540% (1.40%)
3,000万円超 1億円以下の部分	0.605% (0.55%)	0.715% (0.65%)	0.880% (0.80%)	0.990% (0.90%)	1.100% (1.00%)	1.210% (1.10%)	1.320% (1.20%)	1.430% (1.30%)
1億円超 3億円以下の部分	0.550% (0.50%)	0.660% (0.60%)	0.770% (0.70%)	0.825% (0.75%)	0.880% (0.80%)	0.935% (0.85%)	0.990% (0.90%)	1.045% (0.95%)
3億円超 5億円以下の部分	0.495% (0.45%)	0.550% (0.50%)	0.605% (0.55%)	0.638% (0.58%)	0.660% (0.60%)	0.682% (0.62%)	0.715% (0.65%)	0.748% (0.68%)
5億円超の部分	0.385% (0.35%)	0.385% (0.35%)	0.418% (0.38%)	0.429% (0.39%)	0.429% (0.39%)	0.429% (0.39%)	0.440% (0.40%)	0.462% (0.42%)

ご負担いただく費用について／ファンドラップ・フィー試算表



ファンドラップは、
やっぱり大和証券。

(契約金額別) ファンドラップ・フィー試算 (年率・税込)

ご契約金額 (資産評価額)	資産保全 重視	より安定	安定	やや安定	バランス	やや積極	積極	より積極
1,000万円以下	0.770%	1.100%	1.540%	1.540%	1.540%	1.540%	1.540%	1.540%
2,000万円	0.743%	1.018%	1.431%	1.458%	1.485%	1.513%	1.540%	1.540%
3,000万円	0.734%	0.990%	1.393%	1.430%	1.466%	1.504%	1.540%	1.540%
4,000万円	0.701%	0.922%	1.266%	1.320%	1.375%	1.430%	1.485%	1.513%
5,000万円	0.682%	0.880%	1.188%	1.254%	1.320%	1.386%	1.452%	1.496%
6,000万円	0.669%	0.853%	1.137%	1.210%	1.283%	1.357%	1.431%	1.485%
7,000万円	0.660%	0.833%	1.100%	1.179%	1.257%	1.336%	1.415%	1.477%
8,000万円	0.654%	0.818%	1.073%	1.155%	1.238%	1.320%	1.403%	1.471%
9,000万円	0.648%	0.807%	1.051%	1.136%	1.222%	1.308%	1.393%	1.466%
1億円	0.644%	0.797%	1.034%	1.122%	1.210%	1.298%	1.387%	1.463%

※上記料率は表示上端数の処理を行なっているため、あくまで目安となります。ご負担いただく費用は、実際の契約金額により異なります

お取引にあたってのご留意事項

手数料等の諸費用について

- 「ダイワファンドラップオンライン」にてお客さまにお支払いいただく費用（ファンドラップオンライン・フィー）は、契約資産の時価評価額に対して最大 1.1 %（年率・税込）となります。「ダイワファンドラップ」にてお客さまにお支払いいただく費用は、契約資産の時価評価額に対して最大 1.54%（年率・税込）となります。「ダイワプラチナウェルスラップ」の報酬は、投資一任契約に定める契約資産の額に対して最大 1.65 %（年率・税込）となります。
- 「ダイワアドバンスラップ」の報酬は、投資一任契約に定める契約資産の額に一定の料率（成功報酬型：上限 0.825%（年率・税込）、固定報酬型：上限 1.375%（年率・税込））となります。ダイワSMA（「ダイワSMA」および「ダイワSMAプライベート・アセットアロケーション・サービス」の両方を含みます。以下同じ。）の報酬は、投資一任契約に定める契約資産の額に一定の料率（成功報酬型：上限 2.2 %（年率・税込）、固定報酬型：上限 3.3 %（年率・税込））となります。成功報酬型の場合は、運用成果の額の最大 22%（税込）が加算されます。
- 投資信託を投資対象とする場合、間接的にご負担いただく費用として、運用管理費用（信託報酬）、監査報酬等の費用が発生します。運用管理費用（信託報酬）は、「ダイワファンドラップオンライン」の場合、純資産総額に対して概算で 0.11～0.34 %（年率・税込）となります（組入れ状況等によっては変動します）。他サービスについては資産配分比率・組入れ状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。監査報酬等の費用は、組入れる投資信託の運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。
- 詳しくは、各商品の投資信託説明書（交付目論見書）、契約締結前交付書面をご確認ください。

ご投資にあたってのリスク等

- 投資一任契約とは、当事者の一方が、相手方から、金融商品の価値等の分析に基づく投資判断の全部または一部を一任されるとともに、当該投資判断に基づき当該相手方のための投資を行なうのに必要な権限を委任されることを内容とする契約です。
- 「ダイワファンドラップオンライン」、「ダイワファンドラップ」、「ダイワプラチナウェルスラップ」、「ダイワアドバンスラップ」、「ダイワSMA」は投資一任契約に基づき、値動きのある有価証券に投資・運用するサービスであるため、契約資産の額（投資元本）が保証されるものではなく、金利・為替相場の変動および株式・債券の発行者の信用状況などが変化することにより、投資元本を下回る可能性があります。
- 運用による損益は、すべて投資者であるお客さまに帰属します。

ご投資にあたっての留意点

- お客さまに運用をご提案する際に、あらかじめ契約締結前交付書面をお渡ししますので、お申込み前によくお読みください。
- また、お申込みの際には、各サービスにおける「投資一任契約書（兼契約締結時交付書面）」、「サービス内容説明書」、「口座約款」、「サービス約款」等で契約内容の詳細をご確認ください。

お取引にあたってのご留意事項

投資信託にかかるリスクについて

- ファンドは、株式、債券、投資信託証券など値動きのある証券（外貨建て資産には為替リスクもあります）に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。委託会社の指図に基づく行為により信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。

投資信託にかかる手数料等について

- 投資信託のご購入にあたっては購入時手数料（申込金額に対し、最大3.3%（税込））をご負担いただく場合があります。また、換金時に解約手数料（換金時の基準価額に対して、1口（当初1口＝1,000円）につき最大22円（税込））や信託財産留保額（換金時の基準価額に対して、最大0.5%）をご負担いただく場合があります。投資信託の保有期間中には、間接的にかかる費用として、信託財産の純資産総額に対する運用管理費用（国内投資信託の場合には信託報酬として最大年率2.420%（税込）、外国投資信託の場合には管理報酬等として最大年率3.755%程度）、その他運用実績に応じた成功報酬やその他の費用・手数料等（運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を表示することができません）をご負担いただく場合があります。

ご投資にあたっての留意点

- 投資信託にかかるリスクおよび手数料等は、それぞれの投資信託により異なりますので、当該投資信託の投資信託説明書（交付目論見書）をよくお読みください。投資信託説明書（交付目論見書）のご請求は、大和証券のお取引窓口までお願いいたします。

円預金に関するご留意事項

 ファンドラップは、
やっぱり大和証券。

- 円預金は、預金保険制度の対象であり、同保険の範囲内で保護されます。
- 大和証券の総合取引口座へご入金いただくと、翌営業日に大和ネクスト銀行円普通預金口座へスウィープ（自動振替）されます。
- 商品に関する詳細は、大和ネクスト銀行ホームページまたは、大和証券の本・支店にて商品概要説明書をご覧ください。
- 「大和証券（株）」は、「（株）大和ネクスト銀行」を所属銀行とする銀行代理業者として、「預金の受入れ」および「内国為替取引」を内容とする契約の締結の媒介を行ないます。

商号等 : 大和証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第108号
加入協会 : 日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会、一般社団法人日本STO協会

銀行代理店

大和証券
Daiwa Securities

所属銀行

大和ネクスト銀行
Daiwa Next Bank

WB2406-111